大正九年十月二十四日　第三種郵便物認可

新京日日新聞

夕刊　十二月十日

本紙定價　一部五錢　一ヶ月壹圓五拾錢
廣告料金　普通一行壹圓五拾錢　特別一行貳圓五拾錢
發行所　新京永樂町四ノ一　新京日日新聞社
電話　編輯局専用(3)三三〇二　營業局専用(3)三三〇五
發行人　河本忠
編輯人　松木勇
印刷人　水越内之介

勸告に酬ゆるに 應戰を以て答ふ

午後一時半一齊に

總攻擊の火蓋切らる

【上海十日發國通至急報】松井最高指揮官の武士道的見地より誠意を盡した勸告狀に對し回答期限たる十日正午に至るも南京衛戍司令唐生智は何等松井最高指揮官に對して應答せず、司令にも早朝來の猛襲を以つて我に應酬しつゝあるので皇軍は遂に斷乎南京城を攻略するに決し午後一時半を期して總攻擊の火蓋をきつた

【上海十日發國通】南京城四周の山岳要塞を完全に占領せるわが南京包圍軍は手に持つ銃器の先に日の丸の小旗をはためかし總攻擊今や遲しと決意の色をたゝへて城内を睥睨してをり、わが飛行機の偵察によれば、南京城外一帶は山岳、丘陵といはず、溪間、隘路といはず到るところ日章旗で埋められてゐる

【上海十日發國通】十日早朝南京城は完全にわが包圍下に陷り紫金山、方山、牛首山、青龍山等城外四周の要塞の山々には朝靄の中に日章旗が翩翻と飜り南京城を壓してゐる

城内外の連絡斷絶

【上海十日發國通】外人方面の情報によれば、南京衛戍司令唐生智は九日午後二時各國大使館に對して殘留外人の即時避難撤退方を要求、午後五時にいたるや下關に通ずる城門を固く閉ざし城内、城外とを連絡する電信、電話を一切斷ち、かくて城内十萬の敵は完全に籠城狀態に陷つた

【鎮江十日發國通】南京城外大校場飛行場を占領した脇坂、人見、伊佐、富士井各部隊は、九日夜東南方より光華通濟二門に肉薄、光華門においてはわが軍の進擊を阻止せんとする戰車一臺を拿捕した、また東方紫金山攻擊中の大野、助川、片桐、野田各部隊は同夜紫金山を占領、同山背後を迂回して太平門に迫り、また南方より進擊中の長谷川、竹下、千葉、山田諸部隊も城壁近く迫り、今や南京は三方を包圍されて袋の鼠となり、わづか長江方面の水路に血路を殘すのみとなつた

紫金山を占領、太平門に殺到す

【麒麟門十日發國通】大野、助川、野田、片桐等各部隊は九日夜遂に紫金山を我が手におさめ中山陵、明の孝陵、靈谷寺等東洋文化の精髓をその保護の下においた

【麒麟門十日發國通】大野、助川等各部隊は紫金山を占領すると共に右部隊は畜路口より蔣王廟を經て中央軍官學校の背後に通ずる太平門に向け一氣に攻擊の態勢を整へた

【高橋門十日發國通】敵の猛烈な抵抗を排して南京東側の城壁に迫りついた脇坂、伊佐富士井の各部隊は、芹川砲兵部隊の掩護砲擊の下に九日夜來頑強に抵抗する敵と交戰中で、城壁から射ち下す敵の十字砲火を浴びながら奮戰、野中工兵部隊は光華門を爆破中で、銃砲聲、爆音は十日朝來南京城頭を震撼してゐる

イタリー政府 聯盟脫退に決定

＝ハヴアス通信の報道＝

【ローマ九日發國通】ハヴアス通信社の報道によれば、イタリー政府は聯盟を脫退することに決定したといはれる

【ローマ九日發國通】ファシスト代表議會がイタリーの聯盟脫退を決定することは最早間違ないと見られるが、ハヴアス通信社は消息筋の觀測としてムッソリーニ首相が脫退を決意するに至つた動機につき次の如く報道してゐる

日獨兩國はイタリーが防共協定に參加したので同國に對し日獨の對聯盟政策に合流する様主張したものと思はれる、特に第三國の反對を排して大陸政策の强行を決意した日本はイタリーに對し對聯盟態度を明確にし防共の共通目的に向つて邁進する様要望したものと見られる、よつてイタリーも聯盟に對決接近を斷念しドイツとゝもに英佛に對抗する新國際機構の樹立に努力することゝなつたものと解される、なほイタリーは最近滿洲國を承認したが聯盟國として聯盟が全然その存在を否認してゐる國家を承認したのはイタリーが最初であり、今後これが重大問題化する惧れがあるのでこのことも脫退を決意するに至つた一半の原因と見られる

ファシスト 代表會議 突然召集さる

【ローマ九日發國通】ムッソリーニ伊首相は來る十一日午後十時ファシスト代表會議を開催するに決し九日召集狀を發した、首相は代表會議の決定を即日ベネチア宮のバルコニーから國民へ報告する筈である、ファシスト代表會議が突然召集された理由は發表されないがローマ外交界においてはイタリーの聯盟脫退がしきりに流布されてゐる事實に徴し聯盟脫退を附議決定しエチオピア併合不承認主義を固執する聯盟に對し最後の絕緣狀を叩きつけるものとみられる

伊の聯盟脫退に對抗 英、米佛と接近

【ロンドン九日發國通】イタリー政府がいよ〳〵聯盟を脫退するだらうとの報道に對し英國外務省筋では表面冷靜を裝つてゐるが、イタリーが脫退すれば聯盟は完全に崩壞し大戰前の勢力均衡外交が復活すべく、英國は米佛と民主主義戰線を强化して對抗するほかなからうとみられる

爆音城壁をゆるがす

空軍南京重爆擊

午前十時いよ〳〵酣

【大校場十日發國通】わが飛行隊は十日午前八時頃銀翼を連ねて南京上空に飛來し、市内外にわたつて巨彈を投下し、地軸をゆるがす炸裂の音が轟々たる爆音の中に聞え、銃砲聲は十時頃に至り益々酣となつた

徹宵防備を固め 敵籠城を決意か

南京の最後愈よ迫る

【上海十日發國通】外人側の情報によれば、南京城内の支那軍は日本側の投降勸告後も軍事行動を中止せず、九日夜深更まで防禦工作を續けつゝあり、路地といふ路地には凡ゆるものを利用して土囊陣地を構築し、城壁の各門には土囊を一杯詰めこんでをり、四周に砲聲殷々と響くなかを兵士が石油罐や爆藥をもつて走り廻り各所に放火して濛々たる黑煙は天を焦し悽慘を極めてゐる

【上海十日發國通】唐生智は昨夜南京市長馬超俊および軍參謀を集めて抵抗か否かの最後的協議を行つたといはれるが、今朝來城内の支那軍はますます防備を强化し城壁に據つて死物狂ひの抵抗を繼續しつゝあり、これらの情勢より見て敵は籠城を決意し一戰を交へんとするものゝごとく南京の運命もいよ〳〵最後の段階に近づいて來た

敵敗殘兵を殲滅

【上海十日發國通】九日夜東伊佐、富士井兩部隊の活躍は凄く、南京北方より流れ込む敵敗殘兵および紫金山より潰走し來る敵に對し時を移さず殲滅的打擊を與へた

朝來大激戰中 城門殺到の各部隊

【大校場飛行場にて十日發國通】九日急進して南京城壁に迫り中山門、光華門外に到達したわが脇坂、伊佐、富士井、人見の各部隊は十日早朝より南京城内の敵と激烈なる戰鬪を交へつゝあり、彼我の砲聲殷々として悽愴を極めてゐる

王集鎭、泰家舖の敗殘兵掃蕩

【石家莊九日發國通】山東、河北、河南の省境附近に蠢く敵を掃蕩中の我工藤部隊は八日正午頃冠縣南方地區を衝き中村部隊は午後一時頃より王集鎭(臨淸南方八里)にあつた約五、六百の敵に向つて猛射を浴せて難無く擊破し同地南方地區一帶を占領また海老名部隊は午前十一時頃より泰家舖にある約三百の敵を擊破して同地南方地區に進出した

坂野少尉戰死

【大校場飛行場にて九日發國通】脇坂部隊の坂野滿隆少尉(東京)は南京に向つて前進中高橋門附近で敵彈を受け壯烈な戰死を遂げた

「下野して罪を天下に謝せ」

冀南各縣治安維持會

蔣介石に下野勸告通電

【北京九日發國通】南京政府は重慶に遷都し蔣介石もまた七日南京を放棄して南昌に脫出したが、なほ迷夢醒めず、あくまで長期抵抗を標榜し、國民を塗炭の因窮に陷れんとの態度を持してゐるので、今や蔣介石政權に對する非難糾彈の聲は全國にさけばれるに至つたが、九日冀南各縣治安維持聯合會はそのトップを切つて蔣介石に對し自決下野し、もつて罪を天下に謝せと下野勸告の通電を發した

通電内容

日支間の平和破れ戰端を惹起するや國民黨軍は日本軍の進擊を支へる能はず、潰走又潰走、北支中支相踵いで敗退し、人民は不慮の災危を受く、しかれども熟つてその原因を探究する時、そは實に蔣委員長の不明の致す所なるを知る、即ち抗日容共政策の結果國を誤り民を失ふものにして斷じて許すべからざるものあり、速かにその非を悟り引責下野し以て國民を塗炭の苦より救ふべし、玆に特に電報を致して勸告す

各軍將領にも通電を發す

【北京九日發國通】冀南各縣治安維持聯合會は蔣介石に下野勸告を通電すると共に全國各將領に對し抗日容共政策が國を亡し民を苦しめる所以なるを指摘し、東洋平和確立のため各將領は過去を淸算し蔣介石と緣を切り日本軍の大義の前に武器を捨てゝ降參し、戰事を終焉して以て民を救ふべしとの通電を發した

各地戰況

(十日朝)

▲上海方面　十日正午を期限とするわが最後勸告通牒に對する回答如何で南京平和開城か攻略かの運命は決するが、皇軍は九日すでに中山門、光華門外に到着し、いつでも突入出來る姿勢をとつてゐる南京城兵の重要退却路蕪湖も九日午後五時遂に陷落し支那兵の退却路は今は對岸浦口方面への一個所をのこすだけとなつた

▲京漢、津浦線方面　黃河以北にあつた支那敗殘部隊は連日に亙るわが猛攻に堪へられず、九日兩線中間大漏地帶に出動した陸軍航空部隊は封邱方面より開封方面に退却中の敵第百卅八、百八十、百八十一師の各部隊を發見、猛爆を加へ大打擊を與へた、かくて南京城下の誓近しの敗報に北支方面の殘敵は大動搖を來し濟南城も皇軍の黃河渡河進擊を俟たずして自潰せんとしてゐる

冠縣を占領

【石家莊九日發國通】京漢線と津浦線の中間地區を掃蕩すべく宋哲元麾下の殘敵攻擊中のわが部隊は、五日夕刻行動を開始し隨所に敵を擊破、八日正午山東省の要衝たる冠縣を占領した、永い間宋哲元軍の暴虐に打ちひしがれてゐた同地住民は戶每に日章旗を揭げ女子供まで旗をふつてわが軍を迎へた、又中村部隊は各所に戰鬪を重ねつゝ辛集(冠縣東方五里)に進出した

京綏線ダイヤ 事變前に復歸

【北京九日發國通】京綏線鐵路當局では最近乘客激增しつゝある現狀に鑑み現在豐臺—大同間に二日間を要するダイヤを變更し、來る十五日より事變前同様十三時間の新ダイヤにより直通列車を運轉することになつた、これにより張家口、大同方面への輸送交通は全く事變前に復することになつた

靑少年移民 現地見學

滿蒙開拓の重大使命を擔つて年々三萬人の靑少年義勇軍が明年度より滿洲各地に入植することに決定したが、この國策的大事業遂行に萬全を期するため大日本聯合靑年團が主催となつて全國各府縣靑年團より該當靑年團の活動の中心となつて奮鬪すべき靑年指揮者ならびに團長より推薦せられた靑年團關係者九十二名を選び、これを二班に分けて各移民地の實態を具さに觀察せしめ移民事業に關する正しい認識と靑少年移民送出に對する熱烈な信念を得せしむることゝなつた、而して第一班はすでに去る十一月三十日東京を出發、北鮮經由にて來滿し約二週間の豫定で第一次より六次までの各移民地及び綿羊協會牧場を視察し、來る十八日に來京する筈である

松岡總裁東上

松岡滿鐵總裁は藤井秘書を帶同、十日午前七時半發旅客機にて東上の途についたが途中郷里にて展墓の上十三日までに着京の豫定である

人事往來

着京

▲中山正三郎氏(會社員)日本京ヤマトホテル
▲秋田直吉氏(同)同
▲高木翔之助氏(同)同
▲富岡末雄氏(住友本社庶務課長)同
▲小笠原雷雷氏(映畫業)國都ホテル
▲中川順一郎氏(東洋製罐)同
▲岐部日吉氏(肥後木材)中央ホテル
▲阿南隆太氏(會社員)同
▲石河淳氏(同)同
▲今西喜左衛氏(同)同
▲長尾光章氏(機械業)都ホテル
▲筒井行夫氏(同)九日同
▲岡本隆一郎氏(帝國生命)同新京ホテル
▲辻留吉氏(官吏)同
▲田路義胤氏(會社員)同蓬萊ホテル
▲日高知新氏(滿鐵社員)同
▲荒木謇氏(官吏)同
▲山崎雄城氏(滿鐵社員)同

出發

▲高橋岩太郎氏　九日北京へ
▲島岡亮太郎氏　大連へ
▲野事嘉造氏　奉天へ
▲日高長次郎氏　同
▲德川守氏　哈市へ
▲安東洪次氏　同
▲興津時馬氏　安東へ
▲水野甚次氏　齊々哈爾へ
▲佐々木茂氏　哈市へ
▲金庭秀松氏　圖們へ
▲森下義之助氏　敦化へ
▲尾本捨次郎氏　奉天へ
▲正井滿人氏　哈市へ
▲田中惠氏　大連へ
▲松尾勝氏　奉天へ
▲松原茂平氏　哈京へ
▲熊澤敏夫氏　大連へ

その日く

□

事變は第二段階へ、すでにこの進展は決定的となつてゐる

□

支那自身と、列國と、この際新しい意思を定めることが肝要なのだ

□

多の日いかに短くとも、深思反省すべき時間は敗戰支那にもあらう

□

落日はジュネーヴあたりにも迫る、古い機構への實物教訓によつて

□

銀盤が招き、日銀のスローブが招く、美しい多は健康姿とゝもにある

供へよ靈前に！
廿六日は慰靈祭
市公署內に供物受付係
廿六日忠靈塔前で

滿洲及支那事變慰靈祭は二十六日午後二時より忠靈塔前で擧行せられるが、特別市公署では左の如く大祭供物の受付をなすこととなつた

大祭は關東軍司令官祭主と事變に對する非常時局の認識を深からしむ、祭神は昭和八年四月一日以降本年十一月末日迄の事變關係戰歿者にして忠靈塔に合祀せらるべき左記の者を含む

一、昭和八年四月施行の關東軍慰靈祭に合祀せし以後滿洲事變關係戰病死者

二、今次支那事變に於ける軍關係戰病死者

三、諸官廳及諸會社の事變關係戰病死者

右實施に當り日滿全各地より御供物の寄進を申受くる事に慰靈各委員に於て決定したるに付至急申込まれたい

尚供物寄進は可成く現金にて寄進致されたい

申込所

新京特別市長官房庶務科內祭典係宛(電二一一一一一)

久邇宮恭仁子女王殿下御降嫁

【東京國通】故久邇宮多嘉王殿下第三王女恭仁子女王殿下(御年二十一)には五攝家の名門公爵二條弼基氏(二八)との御婚約御內定、御喪明けの明年秋勅許を仰がせられ公爵家に御降嫁遊ばされることになつた

……して行はれ式は簡素莊嚴に之を施行し特に滿洲國皇帝の御親臨を仰ぎ在滿遺族並に文武百官一般市民參列の下に殉職犧牲者の英靈を慰むると共に支那事變及滿洲

蒙民聲援の結晶
慰問金一萬三千圓で
必需品を戰線へ送る

綏遠一帶の治安確保のため酷寒を物ともせず奮闘してゐる內蒙軍に對する滿洲國內同族の銃後運動は益々熱意を加へつゝあるが、蒙古會館事務當局を通じて寄託して來た慰問金額は九日現在をもつて一萬三千圓に達したので、內蒙軍當局と打合せた上一先づこれをもつて必需品を購入早速綏遠戰線に送附する事となつた

耳鼻咽喉科會

第卅七回大日本耳鼻咽喉科會滿洲地方會は來る十二日午後一時より新京市立醫院講堂に於て開催されることゝなつた同會には滿大松井學長を始め耳鼻咽喉科教室員其の他全滿各地より多數の專門家の出席あり盛會を豫想されて居る、尚當日出演者の演題氏名は次の如くである

一、開會の辭　岩田龍生

二、鼻咽腔內腫の二例に就て　小島餘君(滿大)

三、「ヒステリー」性牙關緊急に就て　早間雅博君(滿大)

四、「ルードウヰヒ氏」「アンギーナ」に就て　高坂知甫君(遼陽)

五、「ヴイタミン」缺乏と「ヂフテリー」感染との關係に就ての實驗的研究(續報)V、B、に於ける場合　矢野豆君(滿大)

六、鼻閉の肺に及ぼす影響に就て實驗的研究(第三報)　早川市藏君(滿大)

七、集團生活者に爆發的發生を見たる猩紅熱　東辻脩三君(公主嶺)

八、鼻腔結石の一例　中島孝三君(奉天)

九、鼻咽腔「ヂフテリー」に續發せる頸部木樣蜂窩織炎の一例　岩田龍生君(新京)

十、語專門領域に於ける瓦斯蜂窩織炎に就て　升澤德敬君(奉天)

十一、「アレルギー」性喘息の一例　西垣雄太郎君(新京)

十二、「アレルギー」性口內炎の一例　佐山光章君(滿大齒科)

十三、鼻性喘息の一治驗例　伊吹皎三君(新京)

十四、橫竇血栓の診斷に就て　荒木章君(滿大)

十五、鼻科患者の主訴に就て　森田近君(撫順)

十六、毒瓦斯と嗅覺問題　松井教授

十七、閉會の辭　松井教授

稻村新聞班長
中央部に榮轉
十五日頃離京赴任

關東軍新聞班長稻村豐二郎中佐は十二月三日附で中央部の要職に榮轉十五日頃離京赴任することゝなつた【寫眞は稻村中佐】

稻村班長挨拶

陸軍中央部の要職に榮轉する前關東軍新聞班長稻村豐二郎中佐は十日午前十一時新聞記者團に對し左の如き挨拶をなした

昨年二月着任以來一年九ケ月間大過なく任務をはたし得たことは各位の御援助によるものと感謝してゐる、在任中新聞統制のため弘報協會を、映畫統制のため滿洲映畫協會を設立しまた觀光委員會の設立等あつて充分諸君と會談し得なかつた事は非常に遺憾に思つてゐる、新聞班長として御國のため陸軍のため十分の働きが出來なかつたことは寔に汗顏の至りである、滿洲國の前途はますます多事であり殊に支那事變以來日本の大陸政策は一大進展を示し東洋の王道化、東洋の復興が着々と實現されつゝあつて滿洲國の東洋における地位も從つて益々その重要性を加へて來た今日滿洲の言論界に活躍する各位の責任も亦愈々重大さを加へて來たのであるから折角各位今後の御奮闘を祈る次第である

昭和十二年を顧みて（十）
明朗國都目指した
新京署の一年
阿片密賣者の根絕を期す

司法係

敏腕の刑事陣容を以てする司法係本年度の活躍はその犯罪檢擧狀況より眺めて見るも明瞭なる如く大新京署の名に一段の光彩を放つものである、

十一月末現在事件發生數は二千四十七件、檢擧件數約七割强を示してゐるが、然し以前の如く殺伐なる犯罪はほとんどこの影を沒してゐるもので重大犯罪と目すべきは僅かに十件にも滿たず然もこれが犯人は一網打盡餘すところなく

檢擧した馬車强盜陳光波外一名は一月十八日居直り强盜綱野勳は二月八日、國際運輸の公金十數萬圓を橫領した廣瀨喜太郎は同月九日摘發、物盜及文書僞造行使詐欺犯年傳文は三月八日、僞官憲强盜犯列芳勳一味は同月十八日、吉陽ビルを舞台に詐欺窃盜を働いた湯川淳一は四月十五日、郵便局官舍の强盜犯陳文治は同月十九日に各々檢擧、さらに管外事件の匪賊張子換は新春初頭七日に、殺人强盜犯英鑑一味は二月九日にと逮捕するの鮮かさであつた、又社會的センセーションを捲き起した特殊的事件については去る十月中旬新京總領事館法廷に於て大審院で詐欺にあらず無罪と判決し滿洲でも多年の懸案とされてゐた談合事件の有罪、無罪の兩論に對し談合事件は詐欺罪と被告一味に斷乎有罪の判決を下すに至つた注目すべき裁判の俎上にのせられた元事實總署官吏河原巍市(無罪)春田義秋を繞る出入商人の不正談合事件は四月一日に摘發、續いて五十錢貨幣僞造團として全滿警察血

搜查

も空しく二年有余に亘る間杳として所在をつきとめることの出來なかつた趙日昭一味兄弟は去る八月上旬苦心酬いられて同係に凱歌が擧げられた、殘暑に燃える九月領警署管內に惹起した伊通河畔獵奇的片割心中として余りにも有名であつた青木証良は十月中旬記念公會堂の大捕物陣として最後の止めを刺し、九月、十月の間通京線及滿鐵線、新京線附近の度重なる列車妨害事件は時も時折も折日滿警務機關擧げて躍起の搜查となつたが檢擧した犯人は普通學校及某小學校のチンピラ小僧の一團、微苦笑ものゝ捕物ではあつたが司法の殊勳を物語るものである、千慮の一失と言ふか六月十日午後九時四十分頃日ノ出町六丁目二番地綿糸綿布雜貨商趙內亭方に侵入現金三百五十圓餘强奪した三人組拳銃强盜事件は重大犯罪中一つの未檢擧となつて、蓋し斯く足跡を辿る時檢擧率正に百パーセントと言ふべきもの

蠢動

の餘地を與へざるのみかこれを鐵壁の司法陣と讃辭を呈するも敢て過言ではなからう高等係の朦朧組檢擧にも匹敵する司法係本年史の最後を飾るにふさはしき活躍ともなつた新京署三十年史の最後を飾る九月廿五日朝曉の第一次、越えて十月廿一日午後十時を期しての第二次、即ち阿片魔藥密賣不正業者の一齊檢擧であつた、結果は前後を通じ日人四十四名、鮮人三十二名、滿人百四十八名、計二百二十二名の大量を檢擧し改俊の情無きものは斷乎在留禁止退去としその他司法處分、戒告、戒飭所送致、轉業等適切の處置を講じてこれが業者の徹底掃滅を完成した、尙賭博犯、與太者等不良狩りは適宜實施しこれまた彼等の

掃蕩したる功勞からざるものがあつた、司法係正に大聖の死にも似て成すところ遺憾なく輝く新京署三十年史と共に去る卅日滿洲國へ移管されたのである、顧みる時この成果には一つに係全員の協力一致があり不眠不休幾多血のにじむ苦心があつた、然しこれをよく統率せるもの飛田主任、次いで小島主任、補佐する次席井田警部補に續く土師警部補國都警察一元化に伴ひ小島主任警佐警務主任、土師大席警佐司法主任と共に中央警察署に止まる

四團体から
赤誠の慰問袋

東洋平和の聖戰に極寒を克服して日夜奮闘する日滿軍人に對する感謝は津々浦々まで溢れて居るが新京でも赤誠の粒々で寄せられた慰問袋が三萬個に達したので既報の如く田邊協和會首都本部長、關屋副市長、星野國防婦人會新京支部長金國防婦女會首都支部長の四氏は十日關東軍並に治安部を訪れそれぞれ獻納した【寫眞上は關東軍下は治安部における獻納】

新京初等學校生が
來春スケート大會
初等學校連絡會新に結成

滿鐵の手より離れて大使館教務部下に移つた教育界の新機構に伴ひ新京初等學校連絡會新京教育會、新京日滿教育聯合會等の團體は共に組織を變更することとなり準備中であるが、先づ初等學校連絡會が新しく組織された、公學校が特別市の手に移り普通學校が別個に普通學校組合に入つたので從來の連絡會は解消して新しく室町、西廣場、白菊、櫻木、八島、三笠、順天の七日本小學校のみにて組織して今後は單なる事務的打合せのみにとゞまらず學校經營の內容研究機關として進むことに決定、其の會議には普通學校公學校はオブザーバーとして出席することとなつたが、其の第一回事業として新京初等學校スケート大會を開催することになり近く各校體育主任會を開き詳細決定することにしたが、時日は一月中旬の豫定で普通、公學校は招待することになつてゐる、尙今後の優勝を決定する競技に有りては此の例にならひ兩校は招待形式で參加得點には加へないことになつた

豆タク開業一周年
百圓を國防献金
祝宴を廢止本社へ託す

新京特別市永春路一區に本社を置く新京國產自動車株式會社略稱豆タクでは十日がてうど開業一周年に相當するので自祝宴を催す管のところ時局柄これを取止め、金百圓を國防献金することゝし同日本社へ寄託した、同社目下運用中の豆タクは五十二台で注文中の補充車十數台は近日中に到着の豫定で社業もいよいよ好調を呈してゐる

亡母忌明に
國防献金
奧本清夏氏

新京特別市惠民路五〇三の七三滿洲電信電話株式會社經理部營繕課工務係長奧本清夏氏は先に母堂ロク刀自を亡ひ十日その忌明にあたり、香奠かへし等を廢して金一百圓を國防献金としたしと本社に寄託かた直ちにその手續を了した

滿人妓女の檢黴
今後月二回に
婦人病棟も近く新設さる

首都警察廳衞生科では去月十二日から三十日に亘る十八日間管內接客業者理髮業、飲食業、妓女、妓館從業員二千九百四十名に對し

健康診斷を實施したがその結果結核十名、氣管支炎十三名、トラホーム三百四十名、花柳病患者十四パーセントの成績で接客業者から右の如く結核患者を出したことは危險極まるものであり、またトラホームの三百四十名に至つては注目を要する問題で、同廳ではこの不成績の結果に鑑みて花柳病豫防及公衆衞生の見地から妓女に對しては從來月一回の檢黴を今後二回實施に改めると共に歡樂街新天地に婦人病院を增設して同病の撲滅に積極的に乘り出し、さらに結核患者掃滅に對しては一般の保健衞生向上は勿論、誤築設備も兼ね備つた健康診斷所を

增設

せんとする計畫を立案近く具體的に實現するもので頗る期待されてゐる

南嶺金融會員献金

十日午前南嶺金融會員四十四名は市公署を訪れ皇軍への献金として百四十圓を差し出したが、係員は早速關東軍へ献納手續をとつた

昨夜市內に
强盜二件

切迫する年末を控へて犯罪續生を豫想される折柄九日夜首都警察廳管下に强盜事件二件が惹起した、南關警察署管內四家子郝桐一(五五)と羅子洞十五號與湧舉(六〇)の兩名が新京から自宅への歸途、九日午後七時三十分頃同管內千家抽房前小橋子附近に差し掛るや突如滿人三人組棍棒所持の暴漢現はれ郝の所持金一圓十錢に兩名綿入長衣身ぐるみ强奪逃走した、次いで同日午後九時頃寬城子警察署管內鐵道北軍用路飛行場西方に於て寬城子新建屯吉慶街六號馬車夫郭升(一八)が通行中一名の滿人に襲はれ驟馬一頭時價百六十圓を强奪逃走した、右屆出により首都警察廳搜査股では管下一齊手配犯人搜査中である

大屯にも强盜

九日午後九時頃大屯附屬地中央通り大德昌方にモーゼル拳銃を所持する滿人四人組强盜侵入家人を監禁の上現金四十五圓その他四點を强奪同九時十五分頃逃走した事件發生、同署では直ちに非常召集犯人嚴重搜査中であるが首都警察廳にもこれが手配あつた

津村氏送別弓道

滿鐵運動會弓道部幹事兼關東州外弓道聯合會幹事津村德太郎氏は今回奉天に轉出することゝなつたので、これが送別射會は十二日午後一時から全滿各弓道會代表者出席のもとに大連滿鐵本社弓道場で開催することになつたがプログラムは左の如くである

一、神前禮射二、矢渡式(福島範士)三、出席者一同禮射、四、競射、五、納射

筒井潔氏赴任

前滿洲國外務局政務處長筒井潔氏は十日午後二時十分發あじあで一路內地に向つたが驛には日滿各機關代表の盛大な見送りがあつた

山越行政課長

對滿事務局山越行政課長は十三日午後八時四十五分の列車で來京の豫定

宇佐美副局長

來京中の哈爾濱鐵道局副局長宇佐美齋氏は十日午後六時三十分發あじあで歸哈の豫定

工事事務所長等
各方面に挨拶

新設された新京工事事務所長參事日廣勳一氏同庶務課職員鴨川甚一郎氏は十日着任各方面に挨拶をなした

宣傳科長後任

撫順副市長に榮轉した前弘報處宣傳科長越置森氏の後任には通化省民政廳文教科長于晴軒氏が就任に決定一兩日中正式發令の筈

あす（十一日）

▲スキー展、三中井

▲スキーの夕、午後六時三十分、西廣場滿鐵俱樂部

▲青年學校移轉式、午後七時

今晚の主なる放送

六、〇〇　子供の時間(京城)「皇軍慰問文朗讀と童謠」一、慰問文朗讀、二、童謠

六、二五　趣味講演「民藝の話」米良晃

七、三〇　講演(東京)

八、〇〇　一、物語「死線を越える遞送」二、歌謠物語「青海原にうたふ」三、立體物語「黑澤一家」

九、〇〇　合唱(東京)一、男聲合唱、二、女聲合唱、三、混聲合唱

獨逸トービス特作

プラーグの大学生

ハンス・ハインツ・エーワース不朽の名作映畫化

怪奇幻想映畫今年度の映畫第一位!!

「海賊ピエトロ」の
アルツール・ロビソン監督

「たそがれ維納」の
アドルフ・ウオールブリコツク

「制服の處女」の
ドロテア・ウイーク
主演

テオドル・ロース・エドナー・グライス 助演

影を金に引代へに惡魔に賣つた大學生を繞る花賣娘の果敢ない戀. 大學生と歌姫の悲戀影の奇怪な跳梁. そしてそれを支配する惡魔. 美しいロマンスの中に神秘と幻惑を持つ物語り!! これぞ今シーズンの異色篇

11日封切

同盟大毎ニユース 支那事變特報

母の勝利

松竹大船本年度最後の本格的悲劇映畫!

女は弱く! 母は強し!

夫を先ひ二兒を抱いて棘の道を歩む可弱き母は幸福であつた併し田舍の祖父の上京に依り十郎は田舍へ連れ去られた

坪内美子
葉山正雄
爆彈小僧
坂本武
主演

名物齋藤寅次郎 監督

料金 階上・七十錢 階下・六十錢

平日十二時日曜に十一時・より時間

長春座

開店御披露

國事多端の折柄歳末を迎え皆々樣愈々御勇健の事と存上ます扨て今般皆樣の御後援に依り銀座新道に食道樂「なるみ」を開店致しました清新な木の香の漂ふ「なるみ」で調味の妙と寛いだ御氣分を御愛顧賜ります樣切に御願ひ致します

味覺随一 別府 ふぐ料理 是非御試食を

食道樂 ふるみ

酒は美酒 大關、白雪

季節料理
小鉢物
おでん
天婦羅

銀座新道 電話③六六〇三

出前は迅速にお届け致します

女中募集

本年掉尾に放つ新興東京巨豪爆彈編!!

忘れちゃイヤヨー!

庭の千草

の流行歌界の女王
渡邊はま子 主演

新人 佐藤勇・菅井一郎・築地まゆみ・金澤コンチヤン

第一部『庭の千草』

風光絶佳の北アルプス
を背景に感傷のメロデー
と共に繰り展げられる
美はしのラブローマンス―

第二部『戰友』

銃後の小國民が皇軍に捧げる赤誠! 涙ぐまーくも、美しい大和魂を描く! 田園劇!!

甲陽映畫超特作
羅門光三郎 主演

旅物 時雨街道

十一日封切 五日間

サービス係募集

50セン

銀座キネマ 電話③六一

滿支間貨物直通運輸 明春早々實現
激增貨物の輸送圓滑期す

今次事變を契機として滿支間の交通は日々に緊密の度を加へ、殊に滿洲より北支に向けられる貨物は北支明朗化と共に最近著しく增加し、北滿發北支向け貨物の最近申込みのみにても七、八十車は下らない現狀にあり現行の山海關驛積み替へによる連絡方法をもつてしては多大の不便を感ずるに至つたので總局では多年の懸案たる滿支貨物列車の直通運轉計畫をこの際一擧に實現すべく、豫て研究中の所愈々成案を得るに至つたので、近く北寧鐵路局と打合せを僞した上明春早々實施の運びとなつた、即ち從來滿支間の貨物は山海關通關代辨取扱處において檢査をした上積み替へられてゐたものであるが、滿支間貨物の急激な增加を見た今日、かゝる姑息的手段をもつてしては到底輸送の圓滑は期し得ない狀態に立ち至つてゐるので總局北寧鐵路間に滿支間貨物通車早急實現の機運が擡頭、遂に今次の決定を見たもので、實現の曉は滿支間交通の發展に多大の貢獻を齎らすと共に明朗北支建設促進に一層の拍車をかけるものとして期待されてゐる

支那側銀行共同して 發券銀行設立か

【天津九日發國通】京津地方の支那側銀行は豫て事變後における北支の金融、財政、經濟の新事態に對し相互提携して善處すべく寄々協議中であつたが、最近に至りこれが對策に關し完全に意見の一致を見、近く北京又は天津に支那側銀行の共同により準備銀行ともいふべき新金融機關が設立されることに內定した模樣である

右機關は資本金五千萬弗程度で今後北支における唯一の發券銀行として新たに金にリンクせる銀元票を發行し北支の法貨統一に乘出すものと見られ、日支臺灣はもとより外人筋は早くもその業務開始の速かならんことを熱望してゐるなほ京津地方における有力な支那側土着銀行としては河北省銀行（資本金六百萬弗）鹽業（一千萬弗）金城（一千萬弗）大陸（五百萬弗）邊業（三百萬弗）大成（二百萬弗）等の各銀行が數へられてゐる

東株爆發相場

【東京國通】皇軍の南京入城迫るの快報に兜町界隈は湧き返るやうな人氣だが、九日は又もや爆發相場を出した新東の寄付は米屋筋に買ひ煽られて七日の大引けの百六十九圓五十錢から一躍七十八圓五十錢と約九圓高といふ奔騰振り、これにつれて鐘紡、人絹、砂糖の諸株も二、三圓から六、七圓高といふ景氣で取引所の建物も破れんばかりの騷ぎ、兜町一帶の無數の電話は一齊に爆發相場を我鳴り立てボーイが右往左往する、一部に傳へられた蔣介石下野說も有力な好材料だといはれるが、いづれにせよ戰捷相場の開場と、南京陷落の提灯行列の準備も急がねばならぬし商內は大賑ひ、取引所を中心に日本晴れの興奮景氣が渦卷いてゐる

北支向朝鮮煙草 年末までに發送

【京城國通】今次事變を契機として朝鮮專賣局では北支における英米煙草トラストを驅逐すべく北支貿易開拓の準備工作中であつたが愈々北支向朝鮮煙草の製造に着手し遲くも年末までに左の三種類の兩切煙草（十本入）を製造、一千梱（一梱二萬五千本入）を發送新春と共に北支に於て朝鮮產煙草を發賣英米トラスト驅逐の第一步を踏み出すこととなつた

サウザンクロス（明星牌）十八錢級
カイダ（十八錢）級
スカイラック（樂島牌）
ピジョン（十二錢）級
マイペット（双猫牌）
カチドキ（十錢）級

本年の半島貿易 十五億に達せん

【京城國通】總督府調査―本年十一月末までの半島貿易は十三億八千百十四萬六千圓に達し、前年同期の十二億二千百四十一萬五千圓を遙かに凌駕し、最高記錄たる昭和十一年中の十三億五千五百萬圓を突破してをり、本年十二月を加へる貿易額は恐らく十五億に達する見込で、未曾有の大記錄を豫想されてゐる

協和工業公司 明春開業

奉天西區北二路二號に建築中の協和工業股份有限公司工場は工事順調に進み年內に諸機械据付を終り來春早々一部操業を開始する筈、同工場は軍需精密品、オートバイ、リヤカー、自轉車、サイドカー等の製作並に加工、組立販賣を行ふもので董事長は王荊山、專務董事吉崎民之輔、常務小田貞三郎、王錫廷、總務部長木村賀七、營業部長姉川啓治製作部長淺尾榮、工場長河村

下級大豆で 味噌醬油製造
―特產中央會の新計畫―

特產中央會では昨年來北滿各地專村において味噌、醬油の製造技術の講習會を開催、下級大豆の利用による農家の副業奬勵に努めて來たが、その製品の良質及び價格の低廉等の有利性により最近においては農事合作社其他の手でこれが工業化を見んとする勢にあり、近く青岡縣合作社が青岡又は滿溝に一萬四、五千圓を投じてこれが製造工場を設置の上製品は安價に組合員の需要に供するほか殘品は沿線各地に賣出すべく準備を進めてゐる、市價一斤八錢乃至十五錢の味噌が原價二錢二厘といふ極めて有利な條件にあり、國營檢查實施に伴ふ不合格大豆の處分方法の一としてもその結果を期待されてゐる

商況欄 十日前場

健之助、常任監察滅木英明の諸氏である

海外經濟電報

倫敦金塊 [illegible]
紐育金塊 三五弗〇〇〇
倫敦銀塊 一八片一六分五
同先限 一八片一六分二
紐育銀塊 四四仙四分三
孟買銀塊 四七留比一六分五
スチール株 五七弗〇〇〇
アナコンダ株 三二弗八分三

市俄古小麥

十二月限 九六仙四分一
五月限 九三仙八分三
七月限 八七仙四分一

紐育棉花

現物 八仙二〇
十二月限 八仙〇七
一月限 八仙〇七
三月限 八仙一〇
五月限 八仙一六
七月限 八仙一八
十月限 八仙二三

印棉

ブローチ 一六四留比八分三
オームラ 一四七留比二分一
ベンゴール 一三七留比二分一

カルカツタ麻袋

青筋 一三三留比四分一
鐵筋 一二〇留比一六分五

外國爲替

英米爲替 四弗九九仙四分三
米日爲替 二九弗十四仙
米支爲替 二九弗六〇仙
英日爲替 一志二片〇〇〇
英支爲替 一志二片三二分九
印日爲替 七七留比二分一

滿洲中銀爲替

上海向 九八弗五〇仙
天津向 九八弗五〇仙
紐育向 二九弗八分一
倫敦向 一志二片一

金銀市況

●上海標金 [illegible]
本寄
步

阪神爲替

對米賣 二九弗 一六分三
對英賣 一志二片 三二分〇

各地株式市況

▲東京株式（短期） 寄付 大引
新東 [illegible]
日鑑 [illegible]
鐘紡 [illegible]
滿鐵新 [illegible]
大新 [illegible]

▲大阪株式（短期） 寄付 大引
新東 [illegible]
日鑑 [illegible]
鐘紡 [illegible]
滿鐵新 [illegible]
大新 [illegible]

▲大連株式（短期） 寄付 大引
[illegible]

各地商品市況

▲大阪綿糸 寄付 大引
十二月限 [illegible]
一月限 [illegible]
二月限 [illegible]
三月限 [illegible]
四月限 [illegible]
五月限 [illegible]
六月限 [illegible]

▲大阪棉花
當限 [illegible]
先限 [illegible]

▲大阪人絹
當限 [illegible]
先限 [illegible]

平嶺齒科醫院　新京中央通（新京神社前）電③－三三四二

▲大阪期米
當限 [illegible]
中限 [illegible]
先限 [illegible]

▲橫濱生糸
現物 [illegible]
當限 [illegible]
先限 [illegible]

各地特產市況

▲新京
現物 寄 引
大豆 [illegible]
高粱 [illegible]
玉蜀黍 [illegible]
米高粱 [illegible]
小豆 [illegible]
包米 [illegible]
先物 [illegible]
●大豆
十二月限 [illegible]
一月限 [illegible]
●高粱
十二月限 [illegible]
一月限 [illegible]

▲大連
●大豆 寄付 大引
袋入 [illegible]
十二月限 [illegible]
一月限 [illegible]
二月限 [illegible]
三月限 [illegible]
四月限 [illegible]
●豆粕
現物 [illegible]
十二月限 [illegible]
一月限 [illegible]
二月限 [illegible]
三月限 [illegible]
四月限 [illegible]
●豆油
現物 [illegible]
十二月限 [illegible]
一月限 [illegible]
二月限 [illegible]
三月限 [illegible]
四月限 [illegible]

舊十一月九日　十二月十一日　土曜 壬申 先勝 成 氏宿

●一白の人　一息入れて後の計畫を立つるに吉金談成る　甲乙と丁が吉
●二黑の人　誠意衆に認められ地位自ら向上を呈すべし　乙と壬と癸が吉
●三碧の人　我慾に耽らず足る事を知りて安全を謀り吉　甲と丁と辛が吉
●四綠の人　一時も油斷なく精勵すれば希望達成する日　甲と乙と丁が吉
●五黃の人　元氣を養ひ勇を鼓して奮進するが吉病注意　乙と庚と壬が吉
●六白の人　物事纏れを生じ易き傾向あり輕動する勿れ　申と壬と癸が吉
●七赤の人　運氣沈滯し物事を手輕く見て敗を招き易し　乙と申と庚が吉
●八白の人　節約は繁榮の基誠實は向上の根となるべし　乙と庚と癸が吉
●九紫の人　毛を吹いて疵を求む逆調に事を企てぬが吉　丁と辛と寅が吉

青春の宿（六六）

須藤鐘一作　柴谷幸二郎畫　（上演 上映）

第一步（一）

『よく、いらつして下すつたわね……』

『は……』

『兄からよろしくと申してをりました』

ちらと、耀子がふりかへつた視線に誘はれて、佛間の方をみるとその横手に控えた銀藏の目と、ばつたり行きあつたときツと、胸を衝かれたやうな氣がして、あはてゝ目を伏せて

『けふは、失禮致します』

逃げるやうに、玄關を降りたつた。

ちやうど、その時分――

林田家から、七八丁ほどしか離れてゐない岡見家の玄關に立つたのは、讓治だつた。

『僕、峰田ですが……お嬢さんはいらつしやいますか』

と、女中に通ずるさまもなく、幸子が胡蝶のやうに――

『さう――』

の……林田さん、知つてゐるでせう、耀子さんのおうちよ……』

『はあ……お父さんは、林田さんとも親しいんですね』

『うゝん、親しいわけぢやないけど、うちも商業會議所の議員ですから……ほかの事ぢやなく、告別式ですから、行つたのよ――』

『告別式つて……誰が亡くなられたんですか』

『あなた知らないの？耀子さんの義姉さんが亡くなられたのよ』

『耀子さんに、姉さんがあつたんですか』

『ちがふ――兄さんの奧さんないの』

『知りませんよ……僕は、それほど耀子さんとは親しくありませんからね……たゞ、ホールでしりあつただけですから……』

明るい色彩の洋裝で、飛び出して來た。

『あら、いらつしやい――お待ちしてゐましたわ。さ、どうぞ――』

『ありがたう――お父さんもおゐでですか』

『えゝ、いま、ちよつと外出してゐますけど……すぐ、歸つてまゐりますわ……母は輕い病氣で寢てゐますけれど……さあお上りなさいな』

幸子は、甘えるやうにいふ

――

幸子は、あれから、二度――昨夜と一昨夜と、つゞけて、讓治とたのしい時を持つてゐたが、讓治の巧な技巧にかゝつていまは彼女の心は、完全に讓治のものになつてゐたのである。

廊下を、階段を、まるでべた〳〵と濡れ着くやうに寄りそつて二階の自分の居室へ案內しながら

『あのね……お父さまはね。今、林田さんのお宅へ行つた

自分の部屋のソファに、並んで腰をおろすと、幸子は、その腕を讓治の首にまはすやうにして

『ほんたうに、耀子さんとは親しくないのね』

『親しくありませんよ』

『キッスぐらゐしたんぢやないの？』

『いやですねえ。幸子さんは僕は、それほど、信用がないんですか』

『さうぢやないけど……でも心配よ。あなたは、誰にでも女だつたら、好きにならずにはゐられないやうな方なんだもの……ねえ、ほんさうのこといつて頂戴。あなた……わたしのほかに、愛した方何人ある――』

『ひとりもありません――』

『まあ……そんなこといつたつて、誰も信じないわ……ひとり位あつたのでせう』

――うるさい女だな。

と、そのとき――ドアにノックがした。

大正九年十二月十四日第三種郵便物認可

新京日日新聞

朝刊

【本紙朝夕刊十二頁】

本紙定價　一部五錢　一ケ月壹圓　郵税一ケ月五拾錢
廣告料金　普通一行　壹圓五拾錢　特別一行　貳圓五拾錢

發行所　新京永樂町四ノ一　新京日日新聞社
電話　編輯局專用（3）三二〇五　營業局專用（3）三二〇〇

發行人　十河忠
編輯人　松本榮勇
印刷人　水越内之介

十二月十日午後五時

牙城南京遂に陥つ！

各城門高く日章旗林立

城内突入壯烈な市街戰

皇軍の一撃に脆くも潰え行く南京（揚子江岸より市街を望む）

【大校場十日發國通】十日午後五時脇坂部隊の先鋒部隊は光華門を占領し城壁高く日章旗を樹立、續いて城内御道街に戰火を擴張中である

【大校場十日發國通】八日午前五時十五分潰走する敵を追つて南京城南側光華門に迫り着いた脇坂部隊は、空軍の猛爆と芹川砲兵部隊の掩護射撃の下に頑强に抵抗する敵を攻撃中であつたが、芹川部隊の砲撃は遂に十日午後四時半城内のアーチを破壞、小坂工兵部隊は大部の土嚢を破壞、伊藤、吉光部隊の一部はこの機を逸せず突入し遂に城壁を確保、敵の首都南京に歴史的日章旗を掲げた

【上海十日發國通至急報】わが總攻撃に東側、南側の各城門は十日夕刻何れもわが手中に歸した

【上海十日發國通至急報】太平門、中山門、光華門、共和門、武定門、中華門、水西門等の各城門はわが野田、大野、富士井、脇坂、人見、長谷川、岡本等の部隊により相踵いでわが手中に歸し、夕刻までには各城門高く日章旗が掲げられた

〔上海軍發表〕

【上海十日發國通】上海軍十日午後七時發表＝松井最高指揮官の情理ある勸告にも拘らず敵は頑强なる抵抗を持續せしをもつて午後一時遂に我が軍は總攻撃を實行することに決し、砲兵の全力をもつて砲撃を開始するとゝもに、全線一齊に進撃、飛行隊の猛撃と相俟つて夕刻早くも各城門を占領し目下城内を掃蕩中なり

城内炎々たる猛火に包る

【上海十日發國通】焦土抗戰を豪語して城内を死守せんとした支那軍八十七、八十八及び教導總隊の三萬は、午後一時を期して行はれた總攻撃に僅か二時間にして動搖崩壞の色を現はし、わが軍は一齊に壘壁上の敵を撃破し城内に突入したが、敵はなほも家屋を楯に執拗なる抵抗を試みてをり、炎々たる猛火に包まれた城内には闇をつんざくやうな砲聲が殷々とこだまし悽愴を極めてゐる

南京城一番乘り

脇坂部隊に司令官祝電

【大校場十日發國通】脇坂部隊南京城光華門突入の報に最前線三百米の〇〇部隊本部はさつと安堵と喜びの色が漲つた、やがて午後六時頃松井軍司令官から

南京城壁一番乘りの成功を祝す、連日追撃の勞を多とす

との電報が屆けられ潮が上にも喜びの色が高潮する銃聲は未だ激しく折柄戰車が城壁目がけて轟々と突進して行つた

當塗を占領

【宣城十日發國通至急報】洛陽湖を横斷鐵舟、小蒸汽によつてクリークを北進、一氣に當塗附近に達した長野、山田部隊は、十日黎明と共に前進を開始し、午前十時一擧に當塗城内に突入、周章ふためく城内の敵兵を掃蕩、午前十一時城頭高く日章旗を飜すに至つた

鎭江要塞を完全に占領

【上海十日發國通】上海軍十日午後七時發表＝數日前より南京東方の要害たる鎭江要塞を攻撃中なりし、足立、花谷の各部隊は九日夕刻完全にこれを占領せり

工兵學校を完全に占領

【高橋門十日發國通】九日夜十一時工兵學校の一部兵營を占據せる富士井、伊佐兩部隊は十日正午頃同學校を完全に占領しさらに進撃中である

紫金山完全占領

【高橋門十日發國通】富士井部隊の菅原部隊は頑强に抵抗する敵を排し十日午前七時紫金山を完全に占領した

朝香宮鳩彦王殿下
閑院宮春仁王殿下
戰線に御活躍

【東京國通】大本營陸軍部十日午後一時發表、一、朝香宮鳩彦王殿下には過般來江南戰線において親しく三軍を御統率中のところ目下南京攻略の重任に就かせられたり、二、閑院宮春仁王殿下には北支戰線において參謀の要職につかせられ御活躍中なり

荒鷲隊敵陣猛爆

黄河南方の敵

猛爆撃

【〇〇基地十日發國通】わが陸の荒鷲は八、九の兩日にわたり黄河を渡つて南方に退却せんとする敵に潰滅的爆撃を敢行した、島田部隊の精鋭〇〇機は九日午前前日に引續き朝城及び陽穀附近にある敵の大部隊に對し猛爆を加へ、陽穀城内は火災を起し、炎の海と化した、なほ同日午前柴田部隊の篠原隊〇〇機は辛縣上空において同地に集結し退却準備中の敵約二百五十名を發見し爆彈の雨を降らし徹底的な損害を與へ地上は一瞬にして死屍累々たる光景を呈した

【〇〇根據地十日發國通】黄河を越え南方に潰走する敵に對し連日猛攻撃を加へてゐる島谷部隊は、十日午前十時卅五分河南、山東の省境である觀城に群る敵數百を爆撃、島田部隊は同一時卅分氾城東方廿キロの敵を爆撃し、山瀬部隊は會通河畔の東昌（大名東方六十キロ）に敗殘兵の集結してゐるのを發見、これを爆撃、多大の損害を與へた

【〇〇基地十日發國通】海軍航空隊は十日午前十時頃小牧友永南大尉、牧中尉、柴田一等航空兵曹の指揮する〇〇機をもつて鎭江東方揚子江南岸喜山砲臺に反復爆撃を敢行、各隊全彈命中といふ快記録をつくり大砲數門を粉碎、兵舍に潰滅的打撃を與へた、一彈は火藥庫に命中黒煙長江を蔽ひ悽慘を極めてゐる

【上海十日發國通】海軍航空隊の一部は十日鎭江附近に飛び都天廟、龜山等揚子江兩岸要塞の殘敵に爆撃を加へた

【〇〇基地十日發國通】三重野中佐指揮の海軍航空隊〇〇機は、十日午後一時卅分一齊に〇〇基地を出發、南京に飛び陸軍部隊の猛攻と呼應して光華門附近の城壁および敵陣に爆撃を加へ、多大の效果を收めて午後四時無事基地に歸還した

わが反撃で敵重爆撃機編隊遁走

【〇〇基地十日發國通】十日午前十一時三十六機編隊の敵軍爆撃機は、高度三千米を保ちつゝ〇〇基地に空襲し來つたが、わが荒鷲の威力に目的を達せず爆彈一發も投下し得ずして東方に遁走した

粤漢線空爆

【香港十日發國通】わが空軍〇〇機は十日午前八時四十分粤漢線韶關上空に現はれ、同地飛行場軍事施設に空爆を加へ、英德、琶江口、源潭の各地を次々に爆撃、さらにその一部は廣東郊外飛行場を空爆して無事歸還した

岸産業部次長今朝歸任豫定

岸産業部次長は十一日午前八時十分着列車で歸任の筈

南京市内の支那軍防備

【ニューヨーク十日發國通】南京九日發A・P電は南京最後の防衛に必死となつてゐる支那軍の配備狀況を左の如く傳へてゐる

白崇禧以下の廣西軍は南京市の西北部を守備、廣東軍は市の東部に配置され蔣介石麾下の精鋭八十八師が南方地區の防衛に當つてゐる

國民政府は潰滅

喜色滿面、張總理語る

南京各城門占領の報を齎して自强街の私邸に張國務總理大臣を訪へば總理は滿面に喜色をたゝへながら左の如く語つた

九日の新聞に日本軍は南京を包圍したとあつたので今日あたりは落ちると思つてゐましたが遂に落ちましたか！日本軍は數次の聲明に明かな如く蔣介石、國民黨に對し膺懲の師を進めてゐるが、これは東洋永遠の平和のためで、一般支那民衆が蔣介石の犧牲となつたことは氣の毒である、支那軍が勇壯にして整備せる日本軍にかなふ筈はなく今にして後悔してゐるであらう、南京占領は國民政府の潰滅を意味してゐる、最後に南京占領を慶祝し併せて日本軍の神速果敢なる奮鬪に對し謹しんで敬意を表します

彰德附近にて敵二百殲滅

【石家莊十日發國通】彰德にあつた我が軍の一部隊は八日午前十時頃彰德東南二キロの地點において軍機關銃を有する約二百餘の敵と遭遇、直ちに潰滅攻撃に移り敵は機關銃その他の武器と多數の死體を遺棄して南方に潰走した

曹桑鎭、桑鎭に進出

【石家莊十日發國通】十日早來わが〇〇部隊は堂邑（臨清南方十里）辛集、賈鎭の要地を確保し、午前十時頃その先頭部隊は曹桑鎭（冠縣南方三里）桑鎭（臨清南方十一里）算庄の地點に進出した、敵は破竹の如きわが攻撃に狼狽し算を亂して潰走した

伯・羅樞軸參加の小國も聯盟脫退か

【ローマ九日發國通】ムッソリーニ首相はいよ〳〵聯盟へ絶緣狀をたゝきつけ伊エ紛爭以來關係を清算すると見られるが、ローマ政界ではベルリン―ローマ樞軸參加の小國も結局イタリーに追從するのではないかと見られてゐる、但し何れの國を意味するのか明言を避けてゐる

阪谷理事來京

滿鐵理事阪谷希一氏は十一日午後十二時五十五分着飛行機で來京一泊十二日午前七時四十五分の飛行機で天津に向ふ豫定

郡山理事來京

郡山滿鐵理事は事務連絡のため十二日午後六時二十分着あじあで來京の豫定

高橋儀時氏赴任

新京滿鐵醫院庶務長から奉天鐵道局總務課保健係長に榮轉した高橋儀時氏は十二日午後二時十分のあじあで出發赴任する

人事往來

▲隈部一雄氏（東京帝大助教授）十日來京ヤマトホテル
▲國山武夫氏（會社員）同國都ホテル
▲佐藤六郎氏（淺野セメント）同
▲世耕弘一氏（日大教授）同
▲森本秀次郎氏（王公府土地整理會社）同
▲須永浩夫氏（滿洲通信機）同滿豪ホテル
▲齋藤竹次郎氏（會社員）同向陽ホテル
▲松岡一郎氏（奉天市公署）同中央ホテル
▲淺井伊三松氏（鑛山技師）同
▲黒羽秀男氏（官吏）同帝都ホテル
▲佐々龜太氏（同）同

個語

國民政府の首都南京が陷落すれば支那は屈服して我れに和平を請ふであらうと見てゐる者もあるやうだが▼それは日本のやうに外敵のために首都を攻略せられたことのない國民の考へ方であつて支那のやうな複雜なる社會組織と▼幾回となく遷都したり主權者が首都を捨てゝ出奔した歴史をもつ國民は南京陷落をさのみ大事件とは思つてゐないであらう▼從つて南京の陷落は直ちに國民政府が屈服する原因であるとは思へないのである、然らば如何なる場合に屈服するであらうかと云ふに▼國民政府が企圖する長期抗戰といふのは英國を背後の力とし日本の疲弊するまでを目標としてゐるのである▼故に國民政府が屈服するのは南京陷落の時でなく英國の轉向によりその援助が期待出來なくなり日本の危機が實現することはないと認識した時だと云つてよいであらう▼要するに我々は南京陷落によつて今次事變が終幕するかの如く考へることは大いに愼まねばならぬ

社說　香港の地位について

一

支那事變の推移に伴つて、香港といふ特別な地域がわれわれの注目の對象とならざるを得なくなつて來てゐる。ここには、この香港が英國の對支政策に於いてどのやうな地位を占めてゐるかを見てみたい。英國が香港を獲得したのは阿片戰爭の結果であつた。そしてこの阿片戰爭とは、英國が印度を征服して其處で阿片を栽培し支那に賣り込み、それに對して廣東の省督林則徐が强硬な反擊を加へたのに對して戰はれた戰爭であつたその後北京條約によつて九龍の一部を領有、更にその後附近の地を租借地とした、これが今日の英領植民地としての香港である。

二

香港は南支那の中心都市廣東の南九十浬の沖合に位し、南支那の重要なる貨物集散地であるとともに、支那及び南洋に對する重要な仲繼貿易港として地理的に絕好の地位を占めてゐる。故に英國は、これを領有した當時海賊の巢窟と漁民部落の一荒島に過ぎなかつたものを、銳意開發し、港灣を整備し、英國の極東貿易及びその對支政策遂行の據點たらしめた。怡和洋行、滙豐銀行、太古洋行、中英公司等の重要機關が此處に設立され、これらは支那の產業、金融、交通、更に進んでは政治にまでもその觸手を延ばして行つたのである。英國の對支貿易に於いて香港は重要なる地位を占めてゐる。それは支那の輸出貿易を仲繼することによつて香港が利益をその掌中に收めてゐることを示すものである。今次事變によりわが海軍の全支航行遮斷決行の結果、香港と廣東をつなぐ廣九鐵道は支那內地への多數外國商品、とりわけ武器彈藥等の軍需品が輸入される重要な通路となつた。それ故事變以來の支那の外國貿易の大激減に反して、香港の外國貿易は增大してゐる。

三

英國は廣九鐵道を基幹として更に支那に伸びんと試みつゝある。昨年漸く完成を見た粤漢鐵道は支那最大の富源地方たる長江と北支を結ぶ京漢線と連絡し、全支を縱貫する巨大な鐵道幹線であるが、英國は支那に對してこの鐵道と廣九鐵道との連絡を要求してゐる。支那は廣東の繁榮を香港に奪はれることを欲しないからこの要求を喜ばない。また英國は香港を新嘉坡と並んで極東に於ける軍備根據地たらしめやうとして努力し、租借地の領土化を欲してゐるが支那側は商業は認めても軍備は認めまいとする。斯くの如きがこれまでの情勢であつた英國の對支政策については轉換の噂もあるが、既得權益を失ふことは欲せず、更にあらゆる機會にその伸長を圖らうとするに違ひない。なほ今後注視を要するであらう。

戰車隊創設以來初の 壯絕極まる 將軍山の激戰
輝く井上、藤田兩部隊の殊勳

【牛首山九日發國通】八日南京南方四里の將軍山西方高原において行はれた井上、藤田兩戰車〇隊の

決戰 こそはわが陸軍の戰車〇隊が創設されて以來最初の悽慘極まるものであつた、即ち右翼に進出せる矢ケ崎部隊掩護の爲先行した井上〇隊は、將軍山々麓において巧みな戰車壕によつて進行を阻まれたとみるや敵は山上より挑戰し、野砲機關銃火の集中に全部隊はみるみる十字砲火の中に埋められた、隊長井上直三中尉、〇隊長今村榮少尉の指揮する戰車隊〇臺は、たちまち火を吹き井上中尉は身をもつて車外にのがれ奇蹟的に一命を拾つたが、今村少尉（鹿兒島縣出身）中野光男一等兵をはじめ廣津久松伍長（大分縣出身）は壯烈なる戰死をとげ、これが救援に馳けつけた關屋正隆軍曹（宮崎縣出身）具志勸之一等兵（沖繩縣出身）もまた地雷火に觸れ無念の一際をかすかに殘して名譽の戰死をとげたが、全軍は一步も退かず敵の掩蓋陣地に砲擊を續け死鬪二時間遂にこれを沈默せしめたのだ、一方藤田部隊麾下頭師〇隊もまた左方山頂攻擊の長谷川及び竹下部隊と協力急坂を登り攻擊を開始したがこの好機を失つては折角の抵抗線を零にすることゝて敵は山頂より迫擊砲を

集中 したゝめ白木滿次軍曹（東京府出身）中野武夫伍長（靜岡縣出身）は顏面に重傷を負ひながら奮戰、つひに頑敵を擊退し、長谷川、竹下兩部隊をして山頂高く日章旗を揭げさせるに至つたのだ

三上等兵の殊勳

【牛首山九日發國通】南京と宣城を繫ぐ幹線、京寧街道を中心に怒濤の如く北進した〇〇部隊の先遣山田部隊は五日溧水城を出發秣陵城を陷れたが、敵の大部隊は町外れ西北端の木橋を背に左右兩地に陣地を築いてわが前進を阻むべく一晝夜にわたり抵抗したが七日朝井上戰車〇隊がその勇姿を現して敵陣を攪亂するに及んで先頭〇隊は勇躍突擊し敗走する敵を追つて高原地帶を占據したゝめ、この方面の前進を一擧に廿キロも縮めたのであつたが、かくも見事な快捷の影には身を以て同軍の進路を開いた三工兵が挺身奉公した物語りがあつた、即ち井上戰車〇隊が敵の前線に躍り出すや敵は敗戰を覺悟してその木橋に放火した上、雨霰とばかり銃火を浴せつゝ橋を渡つて後退、流石の戰車隊も前進不可能とならんとした刹那、その後方にあつた小田繁〇隊麾下三好部隊の早川新助、遠藤一、櫻井佐官の三工兵上等兵は戰車を越え前進銃火の中をものともせずクリークの火を運んで消火し、漸く燒落ちんとする橋を救ひ戰車の突進路を開いだものである

南京政府の全機構 今や完全に崩壞
國を擧げて紊亂の極に達す

【上海九日發國通】南京落城いよいよ迫り國民政府全機構の崩壞も今や單なる時間の問題となつて國をあげて紊亂の極に達せんとしてゐる、即ち現在までの崩壞過程を見るに南京政府の中樞たる中政會は名目上は四川省の重慶に移されたるも何れも分散して會合を開くによしなく事實上解消狀態にあり、行政院は大本營の設置によつて既にその活動の大部分を奪はれてをり、現業員の多い鐵道交通部を除き他の行政各部はその後その官吏數を平時の一割に減少、生命とたのむ對外關係の處理に任ずべき外交部の如きも戰前四百人の官吏が今は漢口に殘れるものは四十名に足らず、立法院の院長、副院長及び五つの委員長五名計七名のみは漢口にあり、機能全く停止してゐる考試院、監察院は看板のみの存在となつた、斯くて國民黨を母體とする蔣政權は全面的に影を沒せんとしてゐる

防共白露委員會

【北京九日發國通】北支における防共線の結成に刺戟された京津地方數萬の白系ロシア人はさきに北支防共白系露人委員會を結成したが、その北京支部では來る十二日ロシア會館の開館式と同時に最初の北京支部大會を開催することゝなつた、ロシア會館は日滿伊獨の防共ブロックと提携して共產主義排擊のあらゆる運動を行ふが、殊に文化運動として日本語および支那語の講習會を定時開催し、また講演會、映畫會などを開いて汎く大衆に呼びかける筈である

岡部少尉の豪膽
敵の戰車三臺を鹵獲

【大校場飛行場九日發國通】八日午後六時脇坂部隊岡部少尉の一隊六十名が高橋門南方の松林に差しかゝつた際、支那將校の乘つたサイドカーが通りかゝつた、これをみた少尉は部下をしてサイドカーを破壞、さらに元の道へ引返さんとした際一臺の戰車が通りかゝりサイドカーの傍で停つた、と見るうちまたまた二臺の戰車が何か喋つてゐる、耳をすますと支那話である、しかし今飛び出せば損害をうけるおそれがある、時を窺ふうちに戰車隊員が降りてサイドカーを調べ出した、これを見た少尉はソレッとばかりに飛出し、敵を鏖殺しにして戰車三臺を鹵獲した、その戰車はその後我軍に操縦され活躍中である

說明　津浦線平原における皇軍入城祝賀旗行列

松竹東寶が提携 北支に進出

【東京國通】明朗境建設の斧の音が威勢よくそこゝに聞えてゐる北支に、早くも衣食住に次で娛樂方面の建設が要求されるやうになつた、現地にある將兵慰安は勿論、抗日的娛樂におどらされてゐる北支民衆の再敎育にも映畫、演劇がもつとも有力な武器であることを認めた興中公司十河社長は、過般北支より歸朝後日本の娛樂界を二分する松竹東寶の兩ブロックに北支娛樂機關建設について働きかけたところ、東寶の小林一三氏は事變直後に北支へ旅行し、今後の文化經濟に多大の興味をもつてゐた際とて双手をあげて贊成、松竹大谷社長も去る七日十河氏と會見し懇談の結果氏も亦異議なく殊に松竹は曩に同社の重役會議で明春早々の北支進出を期してS・Y理事矢本吉太郎および千葉吉藏兩氏の派遣決定をみてゐる折とて待つてましたとばかりに積極的に力添へすることを明言、いよいよ兩社間で建設プランを練ることゝなり、こゝに國內に鎬を削つて血みどろの競爭をしてゐた娛樂兩ブロックは北支進出には仲よくスクラムを組んで乘出すことゝなつた

明年入滿許可の 支那人勞働者は四十萬人

勞働統制委員會は九日午後二時關東軍司令部會議室に開催明年度入滿支那人勞働者の件を協議した結果、入滿許可數を四十萬人と決定した、右委員會は康德二年以來入滿勞働者の漸減を方針として努力し來つたが、本年度および明年度においては多少增加の傾向を示してゐる、これは產業五ケ年計畫の遂行に即應するためである

獨財界代表 特產視察に來滿

滿獨間の通商貿易關係は兩國の政治經濟の相互依存關係の緊密化により近時著しくその友好の度を深めつゝあり、既報の如く滿洲特產の大宗たる大豆を紐帶とする兩國の經濟提携工作機關としてさきにハンブルグにおいて「滿洲貿易振興會」が結成され、對滿獨逸國全商工業者を網羅せる强力なる國際貿易振興機關の設立をみ、目下現地總領事館、滿洲國、駐滿獨通商代表部及び特產中央會駐在所との合作のもとに加盟會員の銓衡に着手してゐるが、同會では結成後直ちに獨逸商品監理官及び油房聯合會代表並びに關係業者中より五名の代表者を選び滿洲特產經濟の視察に赴くことになり、目下代表人員の銓衡及び特產中央會宛旅費補助費の交付方を折衝中であるが特產中央會では來る十五日の理事會に附議正式決定することになつた而して一行の渡滿は大體明春三、四月頃とみられてゐるが、獨逸財界代表者の滿洲視察の成果に對しては同會今後の積極的活動と相俟つて滿洲大豆の世界的商品價値を高揚するものとして關係方面では頗る期待されてゐる

產業部員は 成可く多く貰ひたい
―鮎川、松岡大連の會談―

松岡滿鐵總裁と重工業會社問題につき協議を遂げた鮎川日產社長は九日午後六時星ケ浦總裁邸において記者團に左の如く語つた

重工業會社問題は總てが滿洲國を相手なので松岡總裁とは餘り話もなかつたが、重工業會社が滿鐵から買ふ入の問題などに就て話をしたところだ、自分としては重工業關係の滿鐵社員は全部貰ひたいのだが、さう出來ぬなら出來るだけ多くの人を貰ひたい、日產關係の會社も人が少いので連れて來る譯には行かぬ、滿洲重工業開發會社の創立總會は來る廿七日東京で開き、拂込は大體來年三月一日の豫定である、滿洲國からもこの際大體二億圓位を拂込んでもらひ日產の分も拂込む豫定だ、アメリカにはなるべく早く行きたいが來年になるだらう、滿炭、輕金屬は自分の會社に入る事になるが日滿商事は現在のまゝだ、昭和製鋼株の問題も近く出來る評價委員會で公正に決定される筈だ、シンジケート問題は將來社債を起す時のことでその際にはこの方面にもお願ひするが、現在のところいろいろ取沙汰されてゐることは當らない、僕は滿洲國に雇はれたもので何時辭めさせられるかも知れないよ、しかしこの會社の創立により約五億の金が滿洲の人々によつて使はれるわけで、滿鐵社員だつて喜んでいゝではないか、東邊道も有望らしい、外資さへ出來ればウンと規模も大きくするつもりだ、この會社も十一月廿四日に滿洲國に登記したが、日本の會社が滿洲國にかう簡單に乘り移されたのはまあ未曾有のことだと言へよう

なほ鮎川氏は直ちに滿洲館における松岡總裁の招宴に臨んだが、十一日旅客機で東上の筈

大陸科學院新 廳舍竣成 十六日移轉

滿洲科學の殿堂大陸科學院の新廳舍は工費六十萬圓をもつて昨年七月以來大同大街の最南端地區に建設中であつたがこの程完成、來る十六日頃移轉の豫定である

生活科學研究所 新設か

新京煤煙防止委員會內では煤煙防止並びに燃料經濟の見地より國立燃料研究所を設置せよとの論が擡頭し目下着々具體的準備を進めつゝあるが、更に北滿奧地の移民始め在滿日本人が腰を落ちつけて働ける樣に燃料問題は勿論その他萬般の生活問題を研究するため、これが研究の綜合機關として大陸科學院內に生活科學研究所を設置し、各方面のエキスパートを網羅して國策遂行の助成機關とすべしとの意見有力となり、目下煤煙防止委員會と中心として立案中である

國防皇軍慰恤献金品（本社取扱）

一金一萬三千六十六圓四錢五厘（關東軍司令部）
一慰問袋千三百三十一個（同）
一金二千六百八十三圓二十七錢（駐滿海軍部へ）
累計一万五千七百四十九圓三一錢五厘
……十二月十日正午迄の分……

奉天省教育會
明春期し新生のスタート切る

奉天省教育會では滿洲帝國教育會の方針に則り省下教育界の刷新振興に銳意努力中であるが今後の活潑なる活動に備へ社團法人に改組すべく豫ねてより所有財產の調查其他諸般の準備を進めつゝあつたがこの程漸く完了したので本日中旬役員會を開催、明年度豫算並に事業計畫案の外前記改組案を附議決定の上直ちに正規の手續をとることゝなつた同會は約四十萬圓に達する財產を所有し政府の補助を仰ぐ必要なく、一萬一千名の會員を擁し全滿における最も充實せる教育として明年一月より新生のスタートを切ることゝなつた

優秀警官を 見學に派遣

首都警察廳では滿系警察官の見聞を廣めひいては滿洲國警察の向上に資せんとする見地から今回本廳勤務警察官委任待遇以下（警尉補以下）のうち成績優秀なる者四十名を選拔しこれを甲、乙各二十の二班に分けて甲班は來る十二日より向ふ六日間朝鮮京城方面へ次いで乙班は十七日より向ふ六日間奉天、大連、撫順方面にそれぞれ該地の警察制度並に社會施設等の視察旅行をせしめることゝなつた

協和會市本部 更新部第一回 委員會

協和會市本部更新部第一回委員會は九日午後三時より同會議室において開催され、各委員出席、先づ稻村本部長より本部長委任に至るまでの經緯及び協和會と日本人會との關係につき說明あり、次で范副長より型の如き挨拶ありて

一、皇軍戰勝慶祝大會に關する件
一、虛禮廢止に關する件
一、新年互禮會に關する件
一、分會改組に關する件
一、新年遙拜式に關する件
一、委員會運用に關する件

その他につき種々協議を重ね午後六時に至り散會した

學校組合 及び組合長

十二月一日設置された日本側學校組合及び組合長を左の通し決定各領事館、學校組合を通じ夫々公示せられた

新京特別市日本學校組合長關屋悌藏、奉天省日本學校組合竹內德亥、吉林省日本學校組合三谷清、龍江省日本學校組合神尾弌春、熱河省日本學校組合連修、濱江省日本學校組合結城清太郎、錦州省日本學校組合平島敏夫、安東省日本學校組合別宮秀夫、間島省日本學校組合江原綱一、三江省日本學校組合松田芳助、通化省日本學校組合田村敏雄、牡丹江省日本學校組合宇山兵士、黑河省日本學校組合手島明義、興安東省日本學校組合山口凱夫、興安南省日本學校組合中村撰一、興安北省日本學校組合河內由藏、在滿學校組合聯合會三浦直彥、新京普通學校組合關屋悌藏、公主嶺普通學校組合鄕德敏夫、四平街普通學校組合古館尙也、開原普通學校組合三原時雄、鐵嶺普通學校組合平田淳、奉天普通學校組合土肥顓、本溪湖普通學校組合岸水喜三郎、撫順普通學校組合增田增太郎、鳳凰城普通學校組合大瀧正寛、安東普通學校組合多田晃、鞍山普通學校組合三重野勝、營口普通學校組合甲斐正治

國防皇軍慰恤献金品

商況欄 十日後場

株式相場
●奉天取引（短期）

	寄付	大引
滿取	一九、九〇	—
東新	一五、四〇	—
大新	六、三〇	—
日產	—	—

新京取引市況（十日後場）

現物	寄	引	出來高
大豆	—	—	—
高粱	—	—	—
小豆	—	—	—
玉蜀黍	三、一九	—	二車
●大豆 十二月限	三、三〇	三、三二	四車
一月限	三、三六	三、三七	五車
●高粱 十二月限	—	—	—
一月限	—	—	—

手形交換高（十日）
一、一七九枚　四〇七、八〇[illegible]

●大連株式（短期）

	寄	引
同新	三七、〇〇	—
豆新	—	—
鐵新	三三、八〇	—
滿新	—	—
日甲	—	—
電毛	—	—
化學	—	—
五品	一六、九〇	—
五新	一〇、〇〇	—
東產	一〇、〇〇	—
日新	八六、八〇	—
民新	六七、七〇	—
鐘新	二九、一〇	—
日新	—	—
同新	—	—
土木	一四、一〇	—

鮮魚小賣相場（十二月十日）

品名	最高	最低
活鯛	[illegible]	[illegible]
氷鯛	[illegible]	[illegible]
中小鯛	[illegible]	[illegible]
カスゴ	[illegible]	[illegible]
チコ鯛	[illegible]	[illegible]
通子鯛	[illegible]	[illegible]
チヌ鯛	[illegible]	[illegible]
アマ鯛	[illegible]	[illegible]
イセエビ	[illegible]	[illegible]
車エビ	[illegible]	[illegible]
白サエビ	[illegible]	[illegible]
小エビ	[illegible]	[illegible]
マグロ	[illegible]	[illegible]
ブリ	[illegible]	[illegible]
ヤズ	[illegible]	[illegible]
ヒラス	[illegible]	[illegible]
サワラ	[illegible]	[illegible]
サゴシ	[illegible]	[illegible]
スズキ	[illegible]	[illegible]
セイゴ	[illegible]	[illegible]
ニベ	[illegible]	[illegible]
アジ	[illegible]	[illegible]
サバ	[illegible]	[illegible]
メバル	[illegible]	[illegible]
アブラメ	[illegible]	[illegible]
ボラ	[illegible]	[illegible]
スクチ	[illegible]	[illegible]
タコ	[illegible]	[illegible]
水蛸	[illegible]	[illegible]
飯蛸	[illegible]	[illegible]
紋甲イカ	[illegible]	[illegible]
甲イカ	[illegible]	[illegible]
水イカ	[illegible]	[illegible]
ヒラメ	[illegible]	[illegible]
カレイ	[illegible]	[illegible]
星カレイ	[illegible]	[illegible]
ホーボー	[illegible]	[illegible]
カナガシラ	[illegible]	[illegible]
コノシロ	[illegible]	[illegible]
コチ	[illegible]	[illegible]
オコゼ	[illegible]	[illegible]
ハゲ	[illegible]	[illegible]
キス	[illegible]	[illegible]
ハゼ	[illegible]	[illegible]
サヨリ	[illegible]	[illegible]
アナゴ	[illegible]	[illegible]
ハモ	[illegible]	[illegible]
ムキミ貝	[illegible]	[illegible]
蜆貝	[illegible]	[illegible]
オバイ	[illegible]	[illegible]
干カレイ	[illegible]	[illegible]
黑生子	[illegible]	[illegible]
カニ	[illegible]	[illegible]
カマボコ	[illegible]	[illegible]
スボト	[illegible]	[illegible]
（切り身相場）		
梶木	[illegible]	[illegible]
ブリ	[illegible]	[illegible]
ヒラス	[illegible]	[illegible]
サケ	[illegible]	[illegible]
サワラ	[illegible]	[illegible]
ヒラメ	[illegible]	[illegible]

滿鐵附屬地卅年史

西廣場小學校沿革史(卅一)

(附)滿洲事變とその影響

體育衞生に關する事項

一、衞生設備の改善(衞生室沿革概要)

大正十四年十一月十六日當校創立と同時に衞生室を設置す爾來增築或は改修の度毎に移轉の已むなきに至り現在の衞生室を設けたのは昭和九年である、昭和十年衞生室の設備整へられるに及び北側二教室を之に充て一を診療室に一を治療室として利用現在に至る

二、現在設備狀況

アクメ紫外線浴室(昭和八年父兄會にて購入)　一
齒科診療器具　一式
眼科暗室裝置　一
試視力表照明裝置　一
身體發育檢査用具　一式
脫衣戶棚　一
身體檢査表保管箱　一
衞　立　一
其　他
治療、洗眼、急救等に關するもの一式

三、施　設

身體に關する積極的な鍛錬は之を體育に讓り消極的養護方面を擔當して衞生的諸施設及訓練行事を行つて來たことは申すまでもない、日頃特に要監察兒童の取扱ひに體育方面と連絡を密接にして注意することに重點を置き一般的には衞生的良習慣の養成に努力して來たもの其の施設として重なるものを擧ぐれば次の如し

要監察兒童名簿作成
毎週火曜日の健康相談日(擔任、校醫、家庭との連絡)
長期病欠兒童の家庭訪問
豫防注射、回虫驅除　擔任、衞生婦
衞生通信、淸潔、整頓、容儀、手洗、晝食、換氣、含嗽等學校と家庭と連絡
衞生講話、及座談會

右の外會社學務課に於いて毎年施設される、海濱、林間、溫泉の各聚落に參加し定期の兒童身體檢査及測定は滯りなく行つてゐる、尙

牛乳飮用は昭和九年より開始し現在希望者約七十名
肝油服用は昭和六年より開始現在希望者約百二十名(眼鏡肝油)
太陽燈照射は昭和八年より實施現在希望者約二百五十名

等の保健榮養方面より

齒科治療　昭和八年迄室町小學校にて治療を受けてゐたのを爾來當校に治療器設備するに及んで校内にて受け得らるゝ樣になり

眼科治療も右同樣に校内にて事すむし治療方面にまで努力す

養護學級に關しては昭和七年第四學年に之を編成して兒童養護の研究をなししも事變以來の兒童增加の激甚と中途入退學兒童の甚大は之が特設を不可能ならしめ余儀なく廢止して現在に至りたるも本年に入り來年度(昭和十二年度)より養護學級研究學校として本社よりの命令を受け再度第二學年にこの養護學級を編成するの計劃を立てる事とせり

四、兒童身體發育に關する事項

過去十ケ年の統計により之を觀察すると其の間多少變化はあるもその一部を除けば身長、體重、胸圍共に順調なる增加の率を示してゐる、昭和十年度の統計は内地及滿洲の平均率に比して率がよく年々發育情況は良好に向ひつゝある事が察せられる

五、兒童の健康に關する事項

健康方面に就いても略右と同樣なることを言ひ得れども昭和八年までの順調なる方向は(要監察兒童、虫齒、トラホーム其の他疾病調査表を參考して)昭和九年度十一年度と逐年不健康兒の增加を來してゐることを見る、此原因を追求して見るに或は次の事情によるものではなからうかと考へらる

昭和八年迄の當校兒童は大體に於いて滿洲育ちのものであり學校としても自體が落ちついてゐた然るに昭和九年度以降の兒童增加は内地或は他の方面よりの轉入學者の多きを示し其れが爲斯る現象を生じたるによる從つてやゝ兒童增加に落付きを見せる來年度よりは再び漸時以前の順調さを取り戾すものと思考する

東宮中佐戰死の報に 三江省民 健氣な誓ひ

中佐の精神は俺等が生す

上海戰線における東宮中佐の名譽の戰死が一度わが三江地區に傳はるや、凡そ中佐の名を知る者は愕然とした

いやしくも武士たるものが戰場に名譽の屍を埋むる事は日本武士道の精華であり、誰しもが望むところではあるが、東宮中佐の場合において、わが三江省民の熱望は些か違ふのである

「東宮先生だけは、三江省で死なせたかつた」

には誰しもが語り合つてゐる言葉である

舊吉林軍 顧問として三江省を育て上げた人でありさらに滿洲國策移民の立案且つ援護者として奮闘せる東宮中佐に對し、三江地區では、その殆んどが東宮先生と呼んでゐる

昭和七年吉林軍顧問として來住されて以來、三江地區司令部顧問となり過去六年間、あの風貌に似ぬ溫情を以て、あらゆる民に接した東宮中佐に對し、先生と呼ぶ事は眞に自然そのものゝ感がある、「滿人を可愛がつてやつて下さい」とは昨年九月記者との初對面の時の言葉である

中佐は自らこの言葉を實行して居た

それだけ に三江地區の治安肅正に對しては、人知れぬ苦悶を持つて居た

この心は、自然あらゆる滿人達にまで浸透感受されてゐた殊に例の土龍山事件の謝文東匪に對しては、彼の歸順を常に熱望し、その機會を求める事を怠らなかつた

或る時中佐は同匪に對し、菓子を贈つたが謝文東の部下達は毒殺と信じ込み、これを食する事を拒んだところが謝文東は

「東宮先生はそんな卑怯なことはせぬ」

と言つて平氣でこれを賞美して食したといふ話もある、昨年暮のことであるが、記者に對し

「今年の舊正には依蘭半截河子(馬文東の實家)に行つて越年をし彼とゆつくり話して見たいと思ふ」

とつくづく言はれたことがある、匪賊の遺兒を公館において養はれたこともこの心であらう、滿人達からは「老朋友」と呼ばれて非常な親しみを持たれてゐた、中佐が部下思ひであつたことも有名であるが、三江省の創設にあれだけの勳功を樹てながら決して自分の部下を徒らに要職につけることをしなかつた

「世の中で無理といふことが一番惡い」

と常々言つてゐた中佐は「情實人事」を第一に嫌つた、かと思ふと中佐の公館には治安肅正のために尊き犧牲となつて斃れて行く英靈の位牌が一人殘らず祭られてゐた

由來南米に於ける日本移民は、人口問題解決上の一方法であるが、滿洲に於ける移民は東亞の指導勢力たる日本が其の聖業を敢行する爲の國策移民であり、滿人に協力して滿洲補强工作に殉ずる天職であると云ふ持論を抱いてゐた、而してその實行方法として、相當數の

屯墾隊を 組織せしめ之を先づ渡滿させ、三年間は各地域の治安肅淸備員として月手當を給し警備に當らしめその上で治安の安定をまつて適當なる地域に入植せしめると云ふ案を持つてゐた

その後滿洲事變の勃發と共に、急速度に滿洲移民問題が擡頭し、當時の關東軍參謀石原莞爾大佐の紹介に依り、國民高等學校長加藤完治先生と相知るに及んで、其の案に若干の訂正を加へたとは云へ急激に進捗し、周知の如く昭和七年には第一次彌榮移民團を永豐鎭に翌八年には第二次千振移民團を七虎力に各入植せしめたのである

中佐は必要とあらば自ら軍務を辭して鍬をとるの覺悟を常に持つて居られた

更に退職後は自ら移民となつて新しき土に生きるのが念願であつた

從つて移民地に對しては常に心を配り多忙な身に自ら足を運んで治安工作に、團員の指導激勵に寧日なき生活を送つたのである、その結果は移民團が幾多の中傷を受けながらも着々と堅實な成果を擧げ、入植五年、今や嚴として先進移民としての光輝をかち得るに至つたのである

千振鄕に は中佐の遺德を永遠に飾る「東宮山」なる山名さへもあり、過日中佐の壯烈な戰死の報が傳へられたとき、兩移民團員とも慈父を失つたかの如く嘆き悲んだそして移民達は土くれの手で眼頭をこすり乍ら「俺達の手で移民を旺んにして先生の英靈を永遠に輝かすのだ」と健氣な誓ひをたてたものである

東宮死すとも移民は亡びず、三江地區の治安は日に整備されてゆく

滿洲街制公布

十二月一日より實施

國家最下級行政區劃として又地方團體として村制とともに鋭意立案中であつた街制は十一月末公布され、十二月一日より實施された

□

第一章　通則

第一條　街は法人とす、官の監督を承け法令の範圍内に於て其の公共事務並に法令又は慣例に依り街に屬する事務を處理す

第二條　街の設置、廢止又は名稱若くは區域の變更は省長之を定む

第三條　街の設置、廢止又は區域變更の場合において街の事務及び財産につき必要なる事項は省長これを定む

第四條　街の境界に關し疑義ある場合は省長これを裁定す

第五條　街内に住所を有する者はその街住民とす、街住民は本法に從ひ街の財産及營造物を共用し街の負擔を分任す

第六條　街は街の事務を處理するため街規則を設くることを得

街規則は一定の公告式によりこれを告示すべし

第二章　街の行政

第七條　街に街長、副街長、司計、事務員その他必要の吏員を置き有給とす

街長、副街長及び司計は街に各一名とし事務員その他吏員の定員は縣長の認可を得て街長これを定む

街長、副街長及司計は縣長之を任免す

街長の任期は三年とす但し重任を妨げず

事務員其の他の吏員は街長之を任免す

第八條　勅令を以て指定する街の街長、副街長、司計、事務員其の他の吏員は官吏を以て之に充つることを得

第九條　街長は街を統轄し街を代表す

街長は街の公共事務及法令又は慣例に依り街に屬する事務並に街住民の緊急の危害の警防に關する事務を擔任す

第十條　街長は吏員を指揮監督し之に對し懲戒を行ふことを得其の懲戒處分は譴責及十圓以下の過怠金とす

第十一條　副街長は街長を佐け街長事故あるときは其の職務を代理す

第十二條　司計は街長の命を承け街の出納其の他會計事務を掌る

縣長は豫め事務員の中につき司計事故あるとき其の職務を代理すべき者を定むべし

第十三條　事務員其の他の吏員は街長の命を承け事務又は技術に從事す

第十四條　街は處務便宜のため街の區域を數區劃に分ち毎區劃に區劃の長一人を置くことを得

前項區劃の名稱及び組織並に區劃の長の職務權限其の他必要なる事項は國務總理大臣之を定む

區劃の長は名譽職とす

第十五條　勅令を以て指定する街には街の事務に關し街長の諮議會を置くことを得

諮議會は諮議會員を以て之を組織す

諮議會員は名譽職とす

諮議會の權限其の他必要なる事項は國務總理大臣之を定む

第三章　街の給料及諸給與

第十六條　名譽職員は街規則の定むる所により職務のために要する費用の辨償を受くることを得

第十七條　有給吏員には街規則の定むる所に依り退職給與金、死亡給與金その他の給與金を支給することを得

第十八條　有給吏員の給料額、旅費額およびその支給方法は省長これを定む

第四章　街の財務

第十九條　街の街住民の共同の利益を增進するため收益を目的とする財産の造成を圖り基本財産としてこれを維持すべし

街は特定の目的のため金穀を積立つることを得

第廿條　街は營造物の使用に付使用料を徴收することを得

街は特に一個人のためにする事務に付手數料を徴收することを得

第廿一條　街はその必要な費用および法令に依り街の負擔に屬する費用を支辨する義務を負ふ

街は街住民の協同勞作に依り得たる收入、財産より生ずる收入、使用料、手數料法令に依り街に屬する收入を以て前項の支出に充て仍不足あるときは街税及夫役現品を賦課徴收することを得

第廿二條　街税の賦課徴收に關しては本法其の他法令に規定あるものを除くの外必要なる事項は國務總理大臣之を定む

第廿三條　三月以上街内に滯在する者は其の滯在の初に遡り街税を納むる義務を負ふ、街内に住所を有せず又は三月以上滯在することなしと雖も街内に於て土地家屋物件を有し使用し若は占有し、營業所を設けて營業を爲し又は特定の行爲を爲す者は其の土地家屋物件營業若は其の收入に對して又は其の行爲に對して賦課する街税を納むる義務を負ふ

第廿四條　納税者の街外において所有し使用し占有する土地家屋物件若くはその收入又は街外において營業所を設けたる營業若くはその收入に對しては街税を賦課することを得ず

第廿五條　數人又は街の一部に對し特に利益ある事件、財産又は營造物に關する費用はこれをその關係者に負擔せしめ又は一部に若くは不均一に賦課することを得

第廿六條　街税、夫役現品、使用料及び手數料に關する事項は本法その他法令に規定あるものを除くの外街規則をもつてこれを規定すべし

詐欺その他不正の行爲により街税及び街税以外の徴收金又は夫役現品の徴收を免れたる者については街規則をもつてその脱し又は徴收を免れたる金額の三倍に相當する金額以下(その金額五圓未滿なるときは五圓)の過料を科する規定を設くることを得

前項に定むるものを除くの外街税、使用料及手數料の賦課徴收に關しては街規則を以て五圓以下の過料を科する規定を設くることを得財産又は營造物の使用に關し亦同じ

夫役現品の賦課徴收に關しては國務總理大臣之を定む

第廿七條　街住民は本法其他法令に依るの外街の費用の負擔を命ぜらるゝことなし

第廿八條　街税、使用料、手數料、過料、過怠金其の他の街の徴收金を期限迄に納めざる者あるときは街長は更に期限を指定して之を督促すべし

前項の場合に於ては街は命令の定むる所に依り督促手數料及延滯金を徴收することを得

滯納者第一項の督促を受け其の指定期限迄に之を完納せざるときは國税滯納處分の例に依り之を處分することを得

本條の徴收金は國、省地方費及縣の徴收金に次で優先しその追徴還付及時效に付ては國税の例に依る

第廿九條　街税の賦課を受けたる者其の賦課に付違法又は錯誤ありと認むるときは賦課を受けたる日より十四日以内に街長に對し審査の請求を爲すことを得

街長前項の請求ありたるときは廿日以内に之を決定すべし

審査の請求に對する決定は理由を附したる文書を以て爲し之を請求者に交付すべし

審査の請求あるも街税の徴收は之を停止することなし但し街長は其の職權又は關係者の請求に依り必要ありと認むるときは之を停止することを得

第卅條　第廿八條第三項又は前條第二項の處分に不服ある者は縣長に訴願し其の裁決に不服ある者は省長に訴願することを得

前項訴願の提起は處分又は裁決ありたる日より卅日以内に之をなすべし

第卅一條　街の永久の利益となるべき支出をなすため負債を償還するため又は天災事變のため必要ある場合に限り街債を起すことを得

街は豫算内の支出をなすため一時の借入金をなすことを得

前項の借入金は其の會計年度内に之を償還すべし

第卅二條　街は街住民の利益を增進するため必要の施設經營をなすことを得

第卅二條　街長は毎會計年度歳入出豫算を調製し年度開始前縣長の認可を受くべし

街長は縣長の認可を得て既定豫算の追加又は更正をなすことを得

街の會計年度は國の會計年度による

第卅四條　街は豫算外の支出又は豫算超過の支出に充つるため豫備費を設くべし

豫備費は縣長の否認したる費途に充つることを得

第卅五條　街は特別會計を設くることを得

第卅六條　街長は豫算の認可を得たるときは直にその謄本を司計に交付し併せてその要領を告示すべし

司計は街長の命令あるに非ざれば支出を爲すことを得ず、命令を受くるも支出の豫算なく且豫備費支出、費目流用に依り支出を爲すことを得ざるとき亦同じ

街の支拂金に關する時效に付ては國の支拂金の例に依る

第卅七條　街の出納は翌年度二月末日をもつて閉鎖す

街長は出納閉鎖後二月以内に決算表を作成しこれを縣長に報告し併せてその要領を告示すべし

第卅八條　豫算の調製方式、費目流用その他會計に關し必要なる事項は國務總理大臣これを定む

カード階級救濟 同情週間

奉天省市公署では歳末の切迫と共に冷き飢餓線上を彷徨ふカード階級に對し溫い救ひの手を延ばすことゝなり九日午後二時より省公署に日滿社會事業團體代表者出席の上社會事業聯合會を開催協議の結果來る十八日より廿四日迄を同情週間として篤志家其他一般より同情金を募り日滿人を通じ約三千に及ぶ要救濟者に金錢、食糧等を配給することゝなつた

都市聯盟運動に 奉天市參加

東京市の提案になる日本六大都市および新京、奉天、大連北京、天津等の日滿支主要都市を包含する都市聯盟結成の機運はますます濃化し、その結成によつて各都市間の親睦を圖り東洋平和の擁護に協力せんとする同聯盟の趣旨にはわが奉天市當局も大いに贊意を表し正式參加の諾あり次第欣然これに參加することゝなつてを　その實現も近い將來と見られてゐる

家庭

ヒヤリと冷い愛情？ 神秘な女の手
さて、生理學的にみた正体は？

女の手は四季を通じて冷たいもの、冷たいのは愛情の深い印しである―と一般に昔から云ひ慣らされてゐるやうですし、またこの說を正しいものとしてゐる一つの挿話として夏場舞台に出るまでの間を密かに氷柱の上にジッと手を於てこれを冷却するのを常としてゐるといふ或る歌舞伎の名女形の苦心談などが傳へられてゐます。女の手は冷たかるべきものだ、とのこの巷說は果して生理學的にみて正しいのでせうか、またこの頃の寒さに際して、手足が冷えるといふのとどう關係があるのでせう。西洋でも冷たい手に溫かい心―とこれは男に對しても女に對しても同樣にいはれてゐますが、握手などした際相手の手の冷たさを劬りかばふ氣持からいはれる一種の儀禮と寧ろみるべきものでせう女の手は冷たいものだといふ通念は、併し一般的にいつて正しいとみるべきです。

（女の皮下脂肪）

それは女には、その特有の柔かな姿體を形づくるところの皮下脂肪が男よりか一般に多いからで、この皮下にある脂肪組織は一種の熱の不傳導體身體内部の熱をしつかりと保持して外界に放散せず、また外界の冷氣を身體内部に傳へない保溫防寒の強い作用をもつもので從つて脂肪の多い健康な婦人のジツトリと脂にぬれた手は、體溫が皮膚表面に放散され難いため觸れて冷たく感ずるのは生理的に當然であります（下脂肪の一番豐富な婦人の腰部が身體中で一番冷たく感ぜらるのもこの理によります）

（血液循環の不順）

これにはまた婦人は男にくらべて運動量が少なく、そのため末梢部の血液循環が妨げられ勝ちであることも原因であるとみねばなりますまい。

（病的に冷たい手）

併し女の手が冷たいといつてもそれは程度問題であつて變に病的にまで冷たく、殊に秋口から冬の間堪へ難いほど手足の冷えが苦痛に感ぜられる場合は、所謂冷え性としてのいろ〱の原因が潜んでゐるものですから、その對策を講ぜねばなりません。冷え性の原因としては胃腸疾患、榮養不良、心臟や腎臟等の循環器系統の病氣、殊に婦人では卵巢機能の不全、子宮の發育不全等いろ〱の婦人病が原因となつてゐることが多くこれらに對しては夫々原因を除くための原因療法（例へばホルモン療法）が必要とされます

料理獻立
兎肉のシチュー煮

兎肉は冬に多く出まはりますし美味しい頃でございますから時節むきのお惣菜としてまことに結構でございます。

【材料】（五人前）
兎肉　百匁
玉葱　二個
馬鈴薯　二個
人參　一本
丁字　少々
桂皮　少々
バター、メリケン粉　少々
鹽、胡椒　少々

兎肉をまづ一口切の大きさに切り炒めてから野菜と共に煮こみます。

寒冷と風邪との關係
生理的の限界如何？ 自然生活を忘れるな

寒さと風邪は附きもののやうに見えるが、感冒の原因を寒さだけに歸することは早計で、寒さといふ外來の刺戟以外に個人的の素因、つまり體質といふものが考へられる。

同じ激寒に遇つても風邪を引く人と引かぬ人がある。好例として歐洲大戰の時、或る戰線で八千人の歩兵のうち、二千七百人程は三晝夜を通して零下五度の寒天にさらされ、殘りの五千三百人程は宿舍に居たが、この場合感冒に罹つた將兵は野天にさらされた方が九十五人（〇・〇三五パーセント）宿舍に入つた方が二十五人（〇・〇四五パーセント）であつたといふ。

この事實から見ても酷寒必ずしも風邪を起すとは限らない。この例では流石に寒冷に馴れた軍隊であるからその罹患率は至つて低いことが分る。そこで個人の素因＝體質が考へられる寒さに抵抗力の弱い人は寒いと感じた瞬間から弱い體質であるために體内に異狀が現れて來る。寒いなと思ふとその感じが反射的に大腦を刺戟し大腦は交感神經を興奮させると上氣道の粘膜に血行の異狀が起り、それとゝもに分泌機轉も亂され、鼻水や痰が出、生理的の限界を越えて病的に陷る。この生理的の限界の廣い人は抵抗力が強いわけで、容易に病氣に陷らない。

風邪に似た症狀を起す流行性感冒やインフルエンザはそれ〲に特別の病菌から現れるが、所謂風ひきには病菌は認められないから、體質をよくするため冷水摩擦とか海水浴、日光浴等が勸められる所以である。動物試驗でも知れてゐる樣に、感冒に罹ると體組織の膠樣狀態に變化を來たし運動知覺神經が麻痺するから、血行が不活潑になり、血液の性質が變つて、鬱血の狀態になる。その甚しいのは凍傷である。從つて體内の免疫物質や白血球數が減るので抵抗力は益々低下し完全に風のとりことなつてしまふ。寒さに抵抗の大きい時はこの樣な異狀が著しく現れぬが或は全く起らないから感冒の侵入を許さない。

個人の素質は冷水摩擦等のトレーニングで相當まで改めることが出來るが、それと同時に寒いうちは殊に、睡眠を十二分にとり便通を毎日規則的に偏食にならぬ樣食慾の旺盛をはかることが先づ必要とされる。

風邪除けに浴びるほどビタミンや酵素や鐵劑の樣な強壯補血の藥を服んで自然生活を忘れては何の足しにもならない。この點は特に注意すべきであるで。

美味しいビスケット 家庭でも作れます

最近黒砂糖の成分が榮養上有効のものが含有せられて居るといふことを認識せらるゝやうになり、家庭のお惣菜に用ひらるゝ方が多くなりつゝあることは、將來の國民保健のために、喜ばしい現象であると存じます。

（材料）黒砂糖十五匁、水茶匙二杯、牛酪四匁（食匙二杯）鷄卵半個（一個十六匁のもの）メリケン粉三十匁、ベーキングパウダー茶匙二杯、香料としてナツメグ又はヴアニラエツセンス少量

（製法）黒砂糖は、大きい塊になつて居ますものは、庖丁で削る樣にして切り、ボール又は清潔な鍋に入れて水を加へ、湯煎にかけ匙でかきまぜながら溶かし溶けた處へ牛酪を入れやはり混ぜながら溶かします。牛酪が溶けた時湯煎より取り出し、混ぜながら冷まし充分冷めて濃くなつた處へ鷄卵を入れ泡立器、又は御飯杓子でよく混ぜベーキングパウダーを加へて篩つたメリケン粉を入れなるべく輕く混ぜ合せヴアニラエツセンス茶匙半杯位加へてメリケン粉をふりまいた板の上に取出し、麺棒で、普通のビスケットの時と同じやうにのばし厚さ二分位に薄くしてビスケット型で抜きます。型のない場合には、庖丁で、色紙形又は小さい三角などに切つてもよく、或は直徑五分位の棒にして粉をまぶした庖丁で、厚さ二分位に斜めに切り油でふきぬいたテンパン（鐵板鍋）にならべて、溶いた鷄卵をぬりオヴン、又はテンピに入れて、中火で、五分―十分燒きます。

メナツグを用ふる時は、鷄卵をぬつてから、其上へ摺りおろしたナツメグの粉を少量散らします。ヴアニラがなくとも美味であります。

このビスケットは、お子樣方のために、強い香料を省いて、砂糖の加減も種々試驗の上定めた分量でありますから成人にはジンジヤー（生姜の粉末）などを加へますと複雜な風味のものが出來ます。

本紙特約連載漫画 ガラムシやおピー
倉金良行

けふの番組
〔M・T・O・Y 新京放送局〕十一日（土曜日）

（朝）

七、五〇ラヂオ體操・入港船のお知らせ（大連）
八、一〇ニユース氣象通報
八、二〇中等滿洲語講座（大連）講師 秩父固太郎
八、四五朝の音樂（大連）
九、〇五經濟市況（東京）
九、三〇經濟市況（東京）
九、四五建國體操
一〇、〇〇家庭講座 年賀郵便に就いて 新京中央郵政局長 小島榮次郎
一〇、二五料理獻立
一〇、三五家庭メモ
一〇、四〇經濟市況（大連・新京）

（晝）

一一、三五經濟市況（大連）
一一、四〇經濟市況（東京）
一一、五九時報（東京）
〇、〇一晝の演藝（大連）
長唄 鮒鮓の拍子舞 快樂榮竹會社中
唄 岡安興志丸／同 千代二／同 勝美／同 ひろ二／三味線 杵屋六紫／同 すみ三／同 一代葉／同 千代鶴／笛 清水みつこ／同 堅田喜之助／小鼓 八重龍／同 八千代子／大鼓 千代香／太鼓 高代
、三〇ニユース・（東京・新京）
一、〇〇經濟市況（大連・新京）
三、〇〇經濟市況
三、四〇經濟市況（東京）
四、〇〇ニユース（東京）ニユース・氣象通報（新京）

（夜）

四、四〇經濟市況
五、二〇ニユース（鮮語）
五、三五演藝（奉天）
六、〇〇子供の時間（京城）
一、慰問文朗讀と童謠 皇軍慰問文朗讀 京城女子師範附屬普通學校第四學年 韓玉榮外
二、童謠 獨唱 氷柱 御志永作詞 洪蘭坡作曲 昌順玉
齊唱 戀張さん 鄭琦英 權寧寅 昌順玉
六、二〇コドモの新聞（大連）
六、二五趣味講演 民藝の話 米良晃
七、〇〇ニユース（東京）ニユース・告知事項・番組豫告（新京）
七、二〇講演（東京）
八、〇〇蔭の勇士の夕（東京）
一、物語 死線を越える遞送 上泉秀信作
二、歌謠物語 青海原にうたふ 今井達夫作
三、立體物語 黒澤一家 荒田正男作
江川宇禮雄 山本禮三郎 外
九、〇〇合唱（東京）
一、男聲合唱 三月の夜 クロイツアー作曲 飯田忠順譯詞 東京リーダー・ターフエル・フエライン 指揮 秋山日出夫
二、女聲合唱 踊りの歌 ウイルソン作曲 葛原しげる譯詞 外一曲 E・C・クラブ 指揮 中井和子 ピアノ伴奏 竹本萬津子
三、混聲合唱 クンスト・デル・フーゲ 廣田美須々作詞 信時潔作曲 玉川學園混聲合唱團 指揮 岡本敏明
九、二九時報・ニユース・ニユース解說（東京）
ニユース・氣象通報・告知事項・番組豫告（新京）
一〇、二〇ニユース再放送
アナウンサー 野村、宮岡

蔭の勇士の夕（後八時 東京）

死線を越える遞送
＝上泉秀信作＝

北支に、上海に或は山間荒野谿谷を或はクリーク、トーチカを勇敢にも疾驅する皇軍の蔭に勇士へ心の糧を送る凛氣勇壯な野戰郵便局員（遞送）が死線を突破しての活躍振りを今夜皆樣の御耳にお傳へ致します。僕達遞送は朝五時から夜十一時まで連日通夜顔ひもやらず内地からの郵便物を整理しては第一線の勇士へ輸送してゐた。然しまだ太原の方に活躍してゐる皇軍へ送つてゐない。山西省の山澗には敗殘兵が殘つてゐる。決死の覺悟がなくては行かれない。太原へ進軍した部隊は足袋はだしでかけ廻る有名な神速部隊だから仲々追ひつけない。僕達は起つた、行から火の中水の中でも行かう。〇〇まで汽車で行きそこから四臺のトラックのうち一臺に警備兵二十名と一緒に乘つた。滿目雪の連山だ。前進又前進、トラックの搖れで體はクタクタだが氣だけが張つてゐる。途端に銃聲が聞えてきた。敗殘兵が僕達の車を狙つてゐる。僕たちも銃を執つた。吾方の機關銃が火を吐いた。彼等はつひに堪へきれなくなつて逃亡した。僕達はやつとのことで目指す部隊へたどりついた。

歌謠物語 青海原にうたふ
＝今井達夫作＝

「友よ僕は海の子だ、旋なす風ともたゝかはう、逆まく荒波ともたゝかはう、だが青空に陽が輝くとき、僕の胸は高鳴りはためく

五百五十噸の貨物船華山丸は神戸で積荷をおろしたと思ふ間もなく突如出帆した。永き航海を終りこの荷物さへ下してしまへば久しぶりで父母妻子の顔を見られると思つてゐた乘組員の氣持は一體どんなであらう＝神戸を出て幾浬かたつた頃「全員甲板」の命があつた。緊張した船長の口からこの華山丸が軍事輸送船に選ばれたといふ事を聞いた一同は何も忘れて萬歳をさけんだそれからといふものは軍事糧食を輸送する爲北支に、上海に幾度往復を重ねたことであらう。秋も去り潮の香ひにも既に冬が感じられた。この間三ケ月休憩も慰安もなくて過したが而してそれがなんであらう皇軍の勝利の一報々々は華山丸全員にとつてたのもしい休息であり慰安であつた。そのかゞやかしい勝利の蔭には表にこそ現はれなくとも自分等の働きが固い礎になつてゐるといふ自覺が彼等乘組員にとつてどんな大きな誇りであつたゞらう華山丸の如き輸送船隊の蔭の働きは枚擧に遑がない程だ。我等は心より感謝と敬愛の念を送らうではないか。

「友よ僕は海の子だ、そして日本の男子だ、尊い任務について幾月、見よ青空に陽が輝く時、僕の胸は高鳴りはためく

立體物語 黒澤一家
＝荒田正男作＝

戰線が膨脹してしまつた。こつちは雨晒しの塹壕だのに敵兵はトーチカだ。狙ひをつけて待つてゐるから頭を出せばヒューンとくる。對峙一週間＝高地に大砲をすえてうちおろすより方法がない。基礎工事に人手が足りない。兵は戰手一杯のギリギリだ苦力は局の發展と共に逃げて募集を繰り返しても無駄だ。黒澤組は上海で荷揚げに從事してゐた軍夫の一團だ。一族郎黨三百名親分の大二郎が呼び出された。大二郎は決心した三百名が任務の重大を開かされ肅然としてうなづいた。間違つても犬死ではない。即日作業は開始された敵の目標を作るに等しい作業だつた事は急を要する晝夜兼行だつた。再度司令部から中止命令が出た程敵の砲火はこの作業場に集中された。「志は有難いが人の命は大切だ」「引受けたからはやり通す」大二郎は頑張つた。三百名が一體になつて涙ぐましい苦役が續いた「おれもお前達も道樂者だ、自慢のできることは一つとしてやつてきちやゐない、過去の罪ほろぼしだ」大二郎は先頭に立つて奮闘した。完成に近づくと敵の砲彈が破壞して行つた犠牲者も相次いだ。「命令だ中止しろ、もういゝ」「大丈夫ですよ」大二郎は笑つた。待機してゐた大砲が引上げられ据つけられた。歡聲が上つた。「中つたぞ〱」大二郎は的中彈の數を數へながら自らも一彈をうけて斃れた。抱へ起した部隊長は「有難う禮をいふ、後は心配するな」と低頭した「何をなさるんだ、たかゞ土方の頭に隊長さんが頭を下るつて法はない」「いやわしは無理な命令を出した分らずやだ、しかしお前は無理をやり通した頭だ」敵陣はおちた。大二郎をはじめ犠牲者をまつる光榮ある墓標をあとに部隊の前進する日がきた部隊長は全軍をとゞめて自ら野菊の一枝を折つて墓に捧げた。將兵はすべてこれにならつた。ひるがへる日章旗の下墓標は花で埋つた。煙草を供へる兵卒もゐた。黒澤組生殘りの人々は一の子分相原又太郎に統率されて病を得て歸國した廿名餘りを除いて一人の落伍者もなく塵と埃りとにまみれて上海の埠頭に荷揚げの勞役に寸暇もない隱れたる愛國の勇士達は健在である。相原又太郎は語る「偉いと思ふ人達にも随分お逢ひしました併しこの人のためなら死んでいゝと思つたのは死んだ親分だけだつた、學問のあるわけぢやないが、不思議な人でしたよ、皆もその氣持なんでせう・よく働いてくれます。前線の兵隊さんからお蔭で心配なく働ける、御苦勞だとお世辭にでも忘れずに言傳てなど聞くともう凱旋までは日本へかへる氣持などトンぢやいますもう奥地は雪だそうですね」

第十一回競演合唱祭 優勝三團体の合唱

一、男聲合唱
東京リーダー・ターフエル・フエライン　指揮 秋山日出夫

イ、三月の夜　クロイツア作曲　飯田忠純譯詞

夜は更けて嵐 強く浪も立つ〱、嵐強く夜は更けて浪も立つ、風嘯き嵐強く夜は更けて浪も立つ、心秘めし〱なつかし春、春はいろめきぬ
夜は更けて嵐強く浪も立つ、心秘めし〱なつかし春いろめきぬ、心秘めし〱なつかし春は今來ぬなつかし春、春はいろめきたちぬ

ロ、村の花嫁　キエルルフ作曲　東辰三作詞

若緑の森をせに花咲く村境、丘の道に映ゆる陽も麗あゝこの日、嬉びの聲擧げて迎ふは村の花嫁、見よ〱美はしさ、花の行列を、ア、、、ラ、、
白衣おうふ山をせに御寺の屋根高く、そびゆる主のみしるしも輝くあゝこの日、きよき鐘打鳴らし迎ふは村の花嫁、見よ〱美はしさ、ア、、、ラ、、

ハ、漁夫の唄　パークス作曲　東辰三作詞

ドンと打つ浪枕エホイ、船はネー搖籃エホイ、潮風のほゝずり、めざめりや沖でサー陽の子守唄、俺は海の子海育ちヤンレエホイ
下は直ぐ地獄でもエホイ、船はネー極樂エホイ、一網上げれば、山と積む銀のサー鱗の海の幸、掛け聲勇ましく大漁船ヤンレエホイ

二、女聲合唱
E・C・クラブ　指揮 中井和子　ピアノ伴奏 竹本萬津子

イ、踊りの歌　ウイルソン作曲　葛原しげる作詞

誰そや來てたゝく、誰そや我が胸の扉たゝく〱、つねならぬ響き音たてゝたゝく我が胸の扉をひそかに開けてのぞけば、誰も來であらず―て、故を知らぬよろこびこそたゞよひめぐれ、遙なる歌聲よ聞えて
遙なる歌の聲よ妙なる歌聲よ心をこめてきゝてあれば、我が手我が足の、あゝ、あゝ生命おぼえて、あ、踊り出づ、手あし踊りて歌の聲のかたとめて、出づる、あ、我が胸も豐げく踊りて行くよ、丘こえて聲あげて踊りゆくよ

ロ、流浪の民　シユーマン作曲　フムメル編曲　石倉小三郎譯詞

（合唱）山毛欅の森の葉がくれに、宴ほがひ賑はしや、松明あかく照しつゝ、木の葉しきて倨居する、これぞ流浪のひとの群、眼ひかり髮きよら、ニイルの水に浸されて、きらゝかゞやけり
（第一ソプラノ）焚火かこみつ（第二ソプラノ）燃ゆる赤き焔、めぐり、男息らふ
（アルト）燃ゆる火を圍みつゝ、強く猛き男息らふ
女たちて忙がしく、酒をくみてさしめぐる、唄ひさわぐそがなかに、南の邦戀ぶるあり
厄難はらふ祈言を、語り告る嫗あり
（第一ソプラノ獨唱）可愛し少女舞ひ出でつ
（第二ソプラノ獨唱）松明あかく照り遍る、管絃のひゞき賑はしく
（アルト獨唱）つれたちて舞ひ遊ぶ
（第一、第二ソプラノ、アルト二重唱）眠りを誘ふ夜の風
（第一、第二ソプラノ獨唱）既に唄ひ勞れてや
（第二ソプラノ、アルト二重唱）眠りを誘ふ夜の風
（第一ソプラノ獨唱）なれし故郷を放たれて、夢に樂土求めたり
（合唱）なれし故郷を放たれて夢に樂土求めたり東雲の白みては夜の姿かきうせぬねぐらはなれて鳥鳴けば何處往くか流浪の民〱流浪の民

三、混唱聲合
玉川學園混聲合唱團　指揮 岡本敏明

イ、クンスト・デル・フーゲ　廣田美須々作詞　信時潔作曲

人生れよろこび、かなしみいかりあきらめの世のすがた、すばらしいわざもてえがいたバツハ、老いてめしひてペン擱いたとには終らぬ小節からつきぬ涙がわく

ロ、五月の歌　メンデルスゾーン作曲　矢田部勁吉譯詞

雪消え若葉萌ゆ、園の樹々に花ほころび、雪消え春來ぬ、樹々には鳥なく、花摘み踊らむ、緑萌ゆ麗野邊に、花摘み踊らむさみどり爽か
さだめなきこの世、春逝きて返らず、明日知らぬ我身、この春かへらず
喜び歌はむ、樂し春嬉し春、神の恩寵なるこの春をたゝへん

ハ、見よ・うるはしく　島崎藤村作詞　成田爲三作曲

見ようるはしく照る月の、幾にけぶる夜のひかり、見よゆるやかに行く水の、流れは遠き利根の河、花さきにほふ岸に、光彩を宿す青草の、眠れるかたの靜けさは、眠の如く見ゆるかな

學藝

新京俳壇展望（上）

三木朱城

俳句はもと〳〵日本特有の文學なので新京の俳壇といつても、たゞ新京に居る日本人によつてのみ形作られてゐるものである。尤も此の頃外人でも俳句を作る人が現れ出して、獨逸なんかでは盛に作つてゐるらしいが其の飜譯したものを見ると我々が稱する俳句とは凡そ隔たりがある。

外人といふのには當らぬかも知れぬが朝鮮では既に十數年前から鮮人の作家が出てゐる故朴魯禎君などは其の尤なるもので短册に書いた筆跡なども中々見事なものであつた

落葉掻く背の子眠ればひたすらに

之れは手近かな俳書の中から見出した同君の作である。

又外人の一異色に亞米利加にブロバン一羽君がある。同君は一度も日本へ來たことすらないといふのだから驚嘆に堪へぬ。

隣り家のピンポンの音夜の秋　ブロバン一羽

これも同君の全貌を示すものでなく十一月號のホトヽギスにあつたのを書いて見たまでゝある。

そこに行くと建國日尙淺しとはいへ滿洲國人に一人の作家の現れないことは殘念である。日本語夫れ自らが習得に困難なのにかてゝ加へて省略の激しい俳句は詠むに、解するに面倒かも知れぬが、他國の人々に依つて詠じられて居る以上出來ぬことはないと思ふ。日本といふもの、日本人といふものを理解するのに之れも何か役立つものでないかと思はれる。

さて新京俳壇を語るに先だつて思ひを長春の昔に馳せて見よう。私は其の時代には勿論住んでゐなかつたのでよくは分らんが大正十三年高濱虛子先生と同伴して來たことがあるので其の頃の思ひ出を書いて長春時代の俳壇の片鱗を窺ふことにする。

其の頃の記錄を探してゐる內にふと高濱虛子先生の『滿鮮はがき便り』が見つかつた讀んで見ると俳壇のみでなく今とは隔世の感のある當時の長春市街の樣子がよく現れてゐるので此處に引用さして頂く。

括弧內の註は私がつけたものである。

◇

二十三日

朝早く長春驛につきました。大尾君（當時の長春驛事務主任）が出迎へてくれました。それから大和ホテルに這入りました。朝鮮の大邱から行を共にしました遠藤韮城君に遂に別れねばならぬことになりました。安奉線から京城に歸るのです君は今朝の汽車に乘り、一同で食堂に行き別盃を酌み八時の汽車に乘込むのを見送りました。人々に出迎へられ見送らるゝ許の中に初めて行を共にした人を送るのは淋しうございました湯に這入つて寢台に一睡しました。午後一時すぎから馬車に乘つて寛城子に行つて見ました。清水德次郎（地方事務所社會主事）清水芳花、小田碧泉（地方事務所）三君が案內でして雨意朱城、私の三人がお客樣です。寛城子驛は既に東支鐵道で通過してゐる驛ですが近く大正八年に寛城子事件といふのがあり、又日露講和條約により日本に讓渡する鐵道を寛城子以南とありしより種々の疑義を生じたることあり出來東支鐵道の末端が寛城子となり居るため兩者權力の衝突あり、其等より有名なる驛なれば見に行きました。歸りに露西亞人の住居の傍で水を汲んでゐる露人の爺さんを入れて寫眞を取りました。風が寒くなつて來たので急いで歸りました。それから又自動車に清水德次郎君が乘りまして支那人町や日本人町を一巡して見ました。長春の町は佐藤肋骨少將が後藤滿鐵總裁の意を受けて土地を買收し其處から建設されたものですが驚くべきは支那町の發展で結構の壯大なる點は及ばなくても住民の多く商業の殷盛な點は獨り支那町の擅まゝにしてゐるところで日本町は煉瓦建の莊麗なる建物こそあれ、ガランとして實に見すぼらしい有樣です。

午後五時から鐵道クラブで（今の滿鐵支社のあるところ）講話をしまして（女學校の生徒が澤山來てゐた樣に記憶いたします）六時から晩餐會に列席しました會者、北村丈葊、荒川古道、赤木雷音鄕、小林東白（滿鐵）野田矢江、佐々木花仙、樋口溪月、小田碧泉、筒井遲童、杉浦十階、萬木秀穗、（滿鐵）楠正雄、館木長節、清水芳花、山隆三風（長春商業）の諸君でした。それから俳句會場に臨みました會者前記諸君の外鵜殿雲山、齋藤俊雄、景山血堂、里甚龍飛、平松翠松、池田草蝉、杉浦十階、鈴木鴨星の諸君でした。兼題木枯三句席題多帽二句を互選しました。

燎亂風情
―『新青年』一月號の諸篇―

雜誌『新青年』の正月號、三つ、四つの探偵小說を讀んでみた。

小栗虫太郎の「賭博者」―この作者はまた一種の難點に立つてゐるのではないかと思つた。一時の怪奇趣味からの離脫はいゝが、まだあの衒學趣味が災ひしてゐる。

海野十三「諜報」―これはいかにも時局あてこみの作品と言つた氣がする。手法は確かに面白いのだが、小說としてはもつと肉があつてよいのではないか。

妹尾アキ夫「カフエー綺談」―或ひはこの號で一番面白い小說であるかも知れぬ。別に知的な內容は無さそうで、しかも最後に讀者はアツと肩すかしを喰ふのであるから仲々隅に置けないのである。

まづ著しく傑出したものも無い代り、燎亂たる風情ありと言ふことは出來やうし、雜誌が「作品尊重主義」であるのが嬉しい。（御垣衛士）

新年文藝懸賞募集

ペンは劍よりも强しと言はれ來つたことをわれらは想起する、殷々たる砲火の中に於てこそ文化の大旆は輝しく押進められるべきであらう、昭和十三年の新旦を迎へるに當り本社では恒例の新年文藝を左の通りひろく募集するが、淸新、意力溢れる讀者諸君のペンが旺んなる民族の歌聲を刻み將又滿洲文藝界の逞しき躍進譜を示さんことは啻に本紙の榮譽たるに止まらぬと思ふ、意義深き王道文化確立のための企畫に諸君の協力を希つて止まない。

募集規定

（A）種目（賞金）

1、創作（小說、戲曲）
四百字詰原稿用紙二十五枚以內
一等（一篇）…賞金二十圓
二等（二篇）…同　各十圓
選外佳作……本紙三ケ月購讀券

2、詩
四百字詰原稿用紙四十行以內
一等（一篇）…賞金十圓
二等（〃）…同　五圓
三等（〃）…同　三圓
佳作……本紙一ケ月購讀券

3、短歌
用紙は官製ハガキ、一人三首以內
一等（一名）…賞金五圓
二等（二名）…同各三圓
三等（三名）…同各一圓
佳作……本紙一ケ月購讀券

4、俳句
用紙は官製ハガキ、一人三句以內
天（一名）……賞金五圓
地（二名）……同各三圓
人（三名）……同〃一圓
佳作……本紙一ケ月購讀券

5、川柳
用紙は官製ハガキ、一人三句以內
天（一名）……賞金五圓
地（二名）……同各三圓
人（三名）……同々一圓
佳作……本紙一ケ月購讀券

審査の嚴正を期するために、特に應募小說は原稿には氏名を認さず、別紙一枚に題氏名（ペンネームを用ふる時は本名も併記す）を明記すること

（B）選者
創作……本社編輯局同人
詩……加藤郁哉氏
短歌……甲斐永樟氏
俳句……三木朱城氏
川柳……青龍刀氏
（郵稅不足その他規定に反するものは一切採らず）

（C）締切期日
本年十二月十五日（十五日の消印あるものは受付く）

（D）發表
本紙明年一月一日號紙上、賞金は發表後一ケ月以內に送付す

（E）宛名
原稿は全て「新京永樂町四丁目新京日日新聞社編輯局」宛、選者へ直接送付は一切無効、封筒表及び裏書裏に必ず（新年懸賞應募原稿）と朱書のこと

映畫日誌
「漁光曲」と「かりそめの幸福」（上）

山下明

十二月×日　日曜日

夜大安電影院にて「漁光曲」を觀た

上海聯華影業公司製作のサウンド版で、監督は蔡楚生。王人美、韓蘭根が主演し、全十二卷。蔡楚生はこの他に「新女性」「迷途的羔羊」などの傑れた作品がある由。この「漁光曲」は支那に於ける漁村の生活の悲慘を社會的觀點から掴かんとしたものである。編輯、カメラ等には隨分技術的な劣拙があるが、全體から受ける眞摯な感じは隨所に逞しい迫力と共感を呼んで充分に理解出來た。左に館で貰つたプロに書いてあつたゞけの梗概を試みに譯して記しておく。（尙ほこの「漁光曲」は先年モスクワで行はれたソヴエート映畫十五年祭で「モミザ館」「麥秋」「生活と戀愛」などいふ世界の一流作品の交つて褒賞されたが、その「漁光曲」はこの「漁光曲」とは別のもので、もつと×××××××××、即ち支那が大たる海岸線と豐富な漁業地を持ちながら自分達が自由に××××××××××××？といふことを說きてのやうな結果を招來した原因を×××××××したものであるといふ。）

◇東海！詩や畫その儘の東海の幾十年か前。朝の太陽は微笑み乍ら東山の稜の梢から顏を現はし、漣は朝日をうけてきら〳〵と金銀色に輝いて海は鏡の樣に靜かで恰かも漸に出てくるやうな美しいその海の上を漁夫は希望と喜びとに滿ち溢れ樂しげに聲高く船唄を歌つてゐた。そよふく朝風に乘つてくる微かなその調べは東海の子供達までが口にし唄ふ漁光曲である。かうして東海の隅々に迄平和の慈光は柔く射し照らしてゐたのである。とは云へ如何なる瞬間に於ても彼等漁夫達はその肉體の受ける苦痛を忘れてはゐない。が彼等はそれも神秘なる海に對する自分達の運命であると諦めてゐるのであつた

徐福もこの漁夫達の中での宿命論者の一人であつた。母と妻との三人暮しで漁村の古い家に住ひ、人々と同じく船主の何人齋から船を借りて漁に出るのである。生活への懸命の努力にも拘はらず生活そのものは誠に困難な狀態にあつた。

或る風雪の強い嵐の夜、幸か不幸か徐福の妻は一男一女の双生兒を生んだ。妻の安産をきくや徐福は喜色滿面、雀躍して神に感謝を捧げるのであつたが反面これからの生活の負擔や責任が倍加されたことを思ふと流石に彼も識らず〳〵の中に胸の詰つてくるのを感ぜずにはをられなかつた

重い足を運んで何人齋に船賃を延ばさしてくれと賴んだが何人齋にしてもそれを許せないのであつた。その爲にはこの嵐の海へ出てはならないこの嵐の日にも徐福は古い船に生命を托して海に挑戰しなければならなかつた。荒れ狂ふ波は容赦もなくこの自然の法則を無視した徐福を一呑みに呑んでしまつたのである。

徐福の死は村人を驚愕さしたがこれも漁夫の運命の終結に過ぎなかつた。徐福の妻は愛しい幼な兒を家において何人齋の家へ乳母として奉公しなければならなくなつた。

長い辛い十年の月日は流れた徐福の妻のまめ〳〵しい働きに依つて何人齋の息子何子英は勿論彼女自身の娘小猫、息子小猴も生長を見た。小猫は聰明にして天眞爛漫な娘に育つたが、小猴は小さい時にひどく病みその上母乳がなかつた爲に愚な子となつてしまつた。

ある日徐嫣は何人齋の家で仕事の最中母危篤の知らせを受けた。狼狽した彼女は不運にも何家最愛の骨董を壞して遂に何家を追はれてしまつた 何子英は再三徐嫣の爲に辯護し養母である彼女に厚い同情を寄せたが徐嫣に攻め寄せる逆運の前に抗す事が出來なかつた。

それから八年の後、小猫と小猴はやはり何仁齋の船を借りて漁夫になつてゐた。子英は父の言ひつけで外國へ新らしい漁業方法の研究の爲に留學する事になつた。子英が東海と別れんとする日彼はわざ〳〵小猫と小猴を尋ねて來た。相ひ對する幼友達三人の顏。暫らくは物も言へなかつた。子英と小猫との間にはほのかな戀心さへあつたのである。ふと傳はつてくる漁光曲の調べ。その調べは微かに震へて恰かも漁夫達が泣くが如く訴ふるが如くに子英の耳を打つのであつた。漁業の合理的改良を唯一の主義と信じた子英には目に見、耳に聞く漁夫の生活の苦痛を深く意識し漁業改良の爲に盡す決心は愈々堅くなつた。

絶えない內亂の結果、匪賊は四方に蜂起し子英の出縛後二年にして平和だつた東海も遂に匪賊の蹂躙する所となつた。堅固な高樓に住む何家はその難を免れたが、廢屋に住む徐家は無一物に掠奪されその慘酷な世の苛責に堪へかねた徐母はたうとう失明してしまつたのである。

東海も昔ながらの樂土ではなくなつた。何仁齋は財産を整理して上海へ移り事業の擴張發展を計り、妻が死去した後は新らしい愛を求めて歡樂の巷に足を踏み入れるのであつた。

小猫に扮する王人美はなかなか優れた演技の持主であり且歌手としても才能があるといふ。（上海百代公司唱片「漁光曲」がある）又小猴に扮する韓蘭根は稀に見る三枚目であると思ふ。尙私の知つてゐる支那の俳優は現在の所王人美、韓蘭根、金燄、陳燕燕、白楊、阮玲玉、胡蝶くらゐに過ぎないが皆夫々好感が持てる。金燄は支那のゲーリー・クーパーと言はれ同胞朝鮮人で王人美と結婚してゐる陳燕燕は日本の逢初夢子に似てをり仲々の美人である。白楊は父が支那人、母が日本人の混血兒で風貌も日本人めいた所がある女優。阮玲玉は昨年自殺した。その他金昌根といふ監督が朝鮮人であり、聯華の營業に相當の重きをなしてゐる。張芳州も台灣人であるとはうれしいではないか。今度の事變で上海の撮影所は殆んど壞滅したと云ひ今後支那の映畫界がどうなるか分らないが出來るだけ支那映畫を見て親しんでゆきたい。

祝南京陥落皇軍萬歳

新京大同大街

株式會社

電話代表(2)二八一一番

新京新發路

寶山百貨店

電話代表②五〇一一番

新京大同大街

三菱商事株式會社
新京出張所

新京舞踏場組合

モンテカルロ
キャピタル
扇芳會館
新京會館

新京大同大街二二三

ニツケギヤラリー

電話②二九一六番

各官廳御用達

カネタ製麺麭工場

西四馬路
電話②一八六六番

新京映畫館聯盟

長春座
銀座キネマ
新京キネマ
帝都キネマ
豐樂劇場
朝日座

◇勳功高し◇

内には至仁の君いまし
外には忠武の兵ありて
我手に握りし戰捷の
譽は正義のかちどきぞ
謝せよ國民大呼して
我が皇軍の勳功を

萬歳萬歳

國民待望の凱歌
は擧る戰捷の祝
杯を心ゆくまで
致しませう

ダイヤ街

サロン春

電③二六九四番

正義皇軍萬歳！

鳴り響く歴史的快報
どツと歡聲全市に爆發
氣の早い旗行列なども飛出して
昨國都夜もすがらの感激

皇軍が南京總攻撃を決意して以來、全國民の關心は、完全にこゝに集中し、陷落は唯時期の問題として早くも戰捷氣分は巷に横溢、刻々報ぜられる緊張したアナウンサーの聲に、超特大の新聞活字に泣しさらはれた貌だつた、十日夜七時廿分、全身を耳にして皇軍活躍のニュースに聞きとれてゐると突如「十日午後五時脇坂部隊の先鋒部隊は光華門を占領し城壁高く日章旗を掲げた」アナウンサーの聲も心持ち昂奮で震へてゐる、南京遂に陷つ!!待機の姿勢にあつた本社は直ちに市内各所にこの快報を貼り出した、忽ち黒山の様な人だかりだ、零下十餘度の寒空にピタリすゑつけられた様に身じろぎもしないで何度も何度も讀みかへしてゐる、感激の日章旗は四方の城壁に翩飜と…ラヂオは尚も續ける、カフエ、料亭の宴會は祝賀宴に變り戰捷の乾杯が連續する、映畫館は映寫を中止して大日本帝國萬歳を三唱する、協和會首都本部用意の小旗は市民大會のために持ち出された、かうした昂奮の爆發が各所に展開する、忽ちの中に全市は擧げて感激の坩堝と化して仕舞つた、やがて九時四十分凍てついた師走の夜の空氣を搖がしてサイレンが鳴り響く、すつきりと澄んだ空氣例月が煌々と輝き亘つてゐる、道行く馬車も自動車も瞬間行進をやめて確める様にその餘韻に耳を傾ける、鳴り響けサイレン！南京はたつた今落ちたのだ、極東に平和來る日、世界史上に一大變革の事實が決定されたその合圖を開け、間歇的なサイレンの音に歡喜の一夜は次第に更けて行く、編輯室の電話は、深更に至る迄陷落の事實を確める問ひ合せでこつちからかける間もない程だ、と、折柄の凍路を衝いて旗行列のはしり、銀パレス祝賀隊の一隊が國防婦人會の裝ひも甲斐々々しく頬を高潮さして本社に飛びこんだ、深夜十一時二十分だ、かうした爆發的祝賀氣分に浸つてゐる時南京攻略を前に觸淵陸軍省高級副官の名に於いてなされた「勝つて兜の緒を締めよ」の陸軍省管下並びに一般國民に對する注意を思ひ合せ戰捷氣分の中にも市民は皇軍聖戰の本旨をふり返り空轉的な騷ぎに對して自戒することが希望されてゐる

けふ午後二時半から
市民祝賀大行進

暴戾支那軍が金城湯池の堅城を誇つてゐた南京も我が皇軍の前には一たまりもなく十日午後五時城門高く感激の日章旗がへんぽんと飜つた、戰史に輝くこの大勝を祝する新京市民祝賀大行進は十一日午後二時半から全市に繰り展げられる、この日國都市民は打揚げる煙火を合圖に午後二時半迄に忠靈塔に集合、新井田總指揮者の號令にて皇居を遙拜しついで忠靈塔下に眠る護國の英靈に對して戰捷祈願奉告の默禱を捧げ東行北行の二部隊に分れ〃祝南京陷落〃〃打倒蔣介石〃等大書したカンレンシヤの大幟手旗を持つて行進を開始し北行部隊は關東軍駐滿海軍部、總領事館、東行部隊は治安部等の正門前に進み萬歳を三唱更に宮內府を遙拜して日滿兩帝國萬歳を唱へて解散するが別に滿人街にては龍頭踊、高脚踊を行つて滿洲國人に友邦日本戰捷の喜びを分ち日滿共同防衛の觀念を强調するほか西公園大同公園の二個所にて數十發の煙火を打揚げ戰捷氣分を全市にわきたゝせる、なほ張國務總理、山口田邊協和會首都本部長、山口滿鐵支社長、田中中銀總裁、五十嵐鄉軍聯合分會長、大原諮議會議長、徐市長、國婦代表等は新京神社にて新願祭のゝち關東軍司令部、駐滿海軍部を訪問して祝意を述べると共に寺內、松井兩總指揮官、日本陸海軍兩相、近衛首相宛大會の名によつて謝電を發する筈である、なほ當日市民は各戶一人必ず行進に參加するやう希望されてゐる

兒童旗行列
午後一時から

全國民が此の日を待望してゐた「南京陷落」を祝ふ市內日滿全學校兒童生徒の戰捷旗行列は十一日午後一時忠靈塔前に參集「國の鎭め」の吹奏下日滿兩代表の玉串奉奠後天にも響けとばかり萬歳三唱、總指揮中學校松井少佐の號令の下に出發蜿蜒長蛇の日の丸の旗の波は新發路を關東軍司令部に行列を進め感激を以て迎へる關東軍將士と共に萬歳を唱和、それより日本側は駐滿海軍部へ、滿洲國側は宮內府へと向ひ祝意を表し解散することとなつてゐる

今晩劇・映畫の夕
座談會に次ぎ西廣場倶樂部で
連日賑ふスキー展

〃鍛へよ心身、備へよ有事〃のスローガンのもとに滿鐵、鐵路總局、ビューロー主催、本社後援のスキー展は日を追うて觀衆を增し殊に本物の降雪でスキーマンの血を湧かせ連日殺到してゐるが日本海の荒れた爲め遲れて居た新潟縣からの特別出品「雪國の防寒具」外初めてスキーを日本に紹介した墺國參謀フオンレルヒ少佐と日本で初めてスキーを滑つた堀內高田聯隊長が明治四十四年一月雪の國新潟縣高田で撮影した貴重な寫眞並に新潟産のスキー等が到着し會場を一段と賑はし十日からは夜間も九時迄となつたので土曜日曜にかけての觀衆は萬餘を超す盛況を豫想されてゐるまたスキーに對する認識を深めるため本紙では連日朝刊三面にスキーの知識を掲載して居るが十日午後五時より在京のスキーヤー十余名を扇芳グリルに招きスキー座談會を開催四時間に亘り各角度より見たスキーについて談じ合ひ盛會を極めた、その速記は近日本紙に連載紹介する、なほ十一日夜は健康禮讃スキーの夕を午後六時半より滿鐵西廣場社員倶樂部に開催、入場無料で開放し左記の豪華プロに合せてスキーの權威小秋元隆邦氏のスキーの話を聞くことになつて居り多數の來場を歡迎する

一、挨拶　稻川新京驛長
二、スキーの話　小秋元隆邦氏
三、音樂と獨唱・舞踊　扇芳會館專屬　アカキハタ・タンゴ　アンサンブル　歌手　關尾良子　舞踊　扇芳亭秀次
四、漫才
五、映畫　(一)雪は招く　(二)四季の日本
六、講演「時局と身心鍛錬」本社代表　上田賢象氏
七、新劇「岐路」一幕　板垣守正作

大川博士
飛行機で來京

五・一五事件に關聯し一昨年秋大審院で叛亂罪幇助で投獄せられた元神武會々長法學博士大川周明氏は去る十月十三日假出所を許されたが、十日午後五時四十分着日滿連絡機で來京、甘粕協和會中央本部總務部長、大迫大佐、大木憲兵隊長、河本滿拓理事長等の出迎をうけヤマトホテルに投宿した、河本理事等とホテルのグリルで久し振りに夕食を共にしたが、終始むつつりと問はれるままに左の如くぶつきら棒に答へただけだつた

滿洲には澤山知つてゐる人が來てゐるあの事件以來非常に心配して頂いたからお禮に來たのだ、滿洲は好きだよ、何故つて皇帝が好きだからさ、二、三日滯在して東京に歸るつもりだ、又來るかどうかそれはきめてゐない、協和會から交渉なんて受けてゐない、入所中の感想は減法寒かつたの一語につきるねハハ……

時局問題等について質問しても更に答へ樣ともせず徹底的な沈默を續けるばかりだ、傍らより某氏が今日は先生非常に疲れてゐますから明日でもお話しされてはどうですかと救ひに現れる、その間ひつきりなしに客が訪れてやあ〳〵と挨拶を交しその度毎に痩身の氏はいち〳〵たち上つて應答してゐたが獄窓の疲れは些かも見えず頗る元氣だつた

高橋事務長榮轉

滿鐵新京醫院事務長高橋儀時氏は今回奉天鐵道總局總務科保健係長に榮轉十二日あじあで赴任することゝなり挨拶のため十日午後來社後任には滿鐵ハルビン醫院から臼井彦一氏が近く來任する

各所にあがる歡喜のどよめき！

（1）陸軍病院傷病兵の萬歳（2）本社の速報に見入る人々（3）國防婦人會朝日分會員關東軍で萬歳（4）その夜國通無電室の活躍（5）ネオン街でも提灯行列（6）映畫館帝都キネマでも映寫を中止して觀客の萬歳

畏し上聞に達し
森田准尉特別進級

【東京國通】十月廿九日綏遠五原方面の空の戰闘に參加した能登隊が敗走する敵を空爆中不幸編隊長機が敵中に不時着するや同編隊に屬する森田四郎機は敵前着陸を敢行し負傷せる能登大尉を自機に收容悠々根據地に引揚げた、この沈着果敢な行爲に對しては去る十月卅日附植田關東軍司令官より個人としては今次事變最初の感狀を授與され、畏くも上聞に達しさらにこれも事變以來初めての陸軍補充令第九十三條第一號の戰功により特別進級の規定を適用十一日附陸軍航空兵少尉に拔擢され進級することになつた

銃後警官の心意氣
お正月餅献納は中止して
俸給一部を献金

曩に中央通警察署員有志によつて計畫されてゐた年末年始の冗費節約の淨財を以てする南北第一線勇士達のあこがれともなつてゐる正月餅献納運動はさらにこれを意義あらしむべく首都警察廳に建議し管下警察官擧げて一齊に實施せんとこゝろみられてゐた折柄この計畫あるを知つた首都警察廳では時局柄まことに意義あるものと大いに賛成、科長會議の結果正月餅献納を「國防献金」に變更し年末年始の虛禮を廢する冗費を節約によつて總監以下雇員以上の管下日滿警察官一丸となつて十二月分の俸給より百分の一を醵出の上献納非常時警察官の意氣を示すことに決定し直ちに管下警察署に通達した

都市金融合作者
發起人會

かねて特別市公署協和會首都本部で盡力設立斡旋中の新京金融組合發起人會は十日午前十一時より特別市商會、頭道溝商務會、農村地區有力者二十九名が參集協和會第一會議室に於て開催、設立準備委員長には徐市長、副委員長には關屋副市長決定、町田委員より定款及設立許可申請書作成報告あり次いで發起人代表として干荆山氏よりの挨拶あつて午後三時閉會した、尙金融合作社の設立申請は十一日經濟部大臣に行ふこととなつてゐるが、今月二十七日頃迄には創立總會開催の段取りとなる模樣で直ちに長春大街二〇八に事務所を置き業務を開始する筈である

八島前校長來社

八島小學校長から間島省日本學校組合主事に榮轉した明日勝氏は十三日午前十時三十五分發列車で赴任することゝなり十日午後挨拶のため本社來訪

フレンツーダ

京商ブラスバンドの名指揮者として且つマンドリンの名手として有名な京商教諭泉隆志氏は本年八月來京より日淺きにもかゝはらず忽ち新京教育界の人氣者となつてしまつた▼最近は自動車部の新設でアッと言はせたが引續き素晴らしい大きな計畫を發表するのだと張切つて「此の俺が居るからにはどの仕事も決して龍頭蛇尾に終らないことは太鼓判を押してもよい」と氣焰をあげてゐる▼友人連が泉の奴えらい元氣だが一體原因はどこに有るのかと寄々考へてみたが、どうやら音樂學校出身のソプラノ歌手である美しき佳津枝夫人の內助の功に依るらしいと皆羨やむこと、羨やむこと▼で盛んに攻撃してゐるが本人の泉先生もこれには「どうも猛攻撃で俺も逃げたくなつたよ」と弱音を吐いたが後がいけない「逃げる時は勿論蔣介石が宗美齢を背負つた時の樣にね」で流石の攻撃軍も顏負けの態

天氣と氣溫

けふの天氣　晴　南寄の風
日の出　前八時二分
日の入　後五時一分
月の出　後〇時二五分
月の入　前〇時四分
きのふの氣溫　最高　四度五　最低　零下一三度一

義人長七郎

(舞臺上演・映畫化)　中川雨之助　竹枝一郎畫

(百二十九)

狼人狩り(九)

「おまへは、昨夜オチ／＼眠れなかつたやうだの」
「はい……」
「それ程、あの男のことが心配なのか」
兄にさう言はれると、香島は、思はず顔が赤くなつた。心の急所を、衝かれたやうな氣がしたのです。
「あら、わたしばかりで無い。兄さまも、寝返りばかりしてゐらした癖に……」
香島に逆襲された通り、英之助だとて、同じく心配でならなかつたのです。
眞をいふと、妹の香島が、昨夜一ト夜さ、オチ／＼眠れなかつたのには、複雑微妙な理由がひそんでゐるので。ただ單に長七郎の安否が氣遣はれたといふばかりでなく、その外にもう一つ胸の疑ひが、胸に動いて眠らせなかつたのです。
「疑」といつてしまふには、チト早過ぎるかも知れないが、しかし「疑で無い」と否定することの出來ない感情なのでした。
彼女にした處で、ホンの一ト目見たに過ないのですが、やはり胸の底深く、長七郎の印象を刻みつけられてしまつたのでした。
美男で、腕が出來てちつとも厭味がなくて、鷹揚で、男らしい男として満點の殿振に娘の春の憧は、ぽつかりと綻び初めたのです。
間もなく、その香島は、表町まで用達に出かけて行つたが、歸つて來ると、兄に向ひ
「兄さん、不思議なことがありますよ」と、さも不思議さうに言ふのです。
「どうした?」
縁側に出て、晴やかな朝空を眺上げてゐた英之助が、振り返ります。
凧の唸り渡り、喉を突ぶやうに高い空から落ちて來る。
「いま途中で、役人に逢ひました」
「またか」と、英之助は、眉に皺を寄せました。
「昨夜、家へ來て、威張り散らした、あの役人と捕方衆でしたが、それが不思議なんですよ」
「だから、何が不思議だ、と訊いてゐるぢやないか。焦さずに早く言つてはどうか」
「それがね、あたしを見ると、とても丁寧にお辭儀をして、昨夜は飛んだ無禮を働き、なんとも申譯がございません。あなたから、どうぞお兄上様へよろしく、といひましたの」
「えッ、役人が、おまへに……はゝゝ、冗談いふな、そんな馬鹿らしいことがあつてたまるものか、あはゝゝゝ」
英之助は、なか／＼笑ひ止みません。香島は、にらむ眞似をして、
「だから、不思議だといつてるぢやありませんか。役人ばかりぢやないのです、捕方の衆までが、みんな鄭重に禮を取つて丁寧に小腰を屈めて會釋をして行きました」
「で、おまへは、何んといつてやつたか」
英之助は、いつか眞顔になつて妹の話に惹きつけられて來ました。
「いゝえ、不意の事だし、あんまり思ひがけなかつたので、あたしは呆気してゐました。役人たちの通り過たあとで、町の人たちが、不思議さうに、あたしの顔を見てゐるので、きまりが悪くなつて逃げて來ました」
「さあ、分らない?」
英之助は、柱にもたれ、兩手に首を抱へ込んで、しきりに小首をひねるのです。